

# 2025年3月期 第3四半期 決算説明会



2025年2月5日

株式会社 ジーエス・ユアサ コーポレーション

## 2025年3月期 第3四半期決算状況

2025年3月期 第3四半期決算におけるポイント	4
1. 売上高・利益 .....	5
2. セグメント別業績 .....	8
- 自動車電池（国内）	9
- 自動車電池（海外）	10
- 産業電池電源	11
- 車載用リチウムイオン電池	12
- 特殊電池およびその他	13
3. 貸借対照表 .....	14

## 2025年3月期 事業環境認識と業績予想

1. 2025年3月期 第4四半期の事業環境認識	16
2. セグメント別業績予想の修正 .....	17
3. 売上高・利益予想の修正 .....	18

# 2025年3月期 第3四半期決算状況

---

# 2025年3月期 第3四半期決算におけるポイント



## 2025年3月期 第3四半期業績 (4-12月)

	2023 年度 第3四半期(4-12月)	2024 年度 第3四半期 (4-12月)	増減	前年比
売上高	4,116 億円	<b>4,268</b> 億円	+152 億円	+3.7 %
営業利益	294 億円	<b>318</b> 億円	+24 億円	+8.2 %
のれん等償却前営業利益	298 億円	<b>323</b> 億円	+25 億円	+8.4 %
経常利益	290 億円	<b>287</b> 億円	△3 億円	△0.8 %
親会社株主に帰属する四半期純利益	177 億円	<b>184</b> 億円	+7 億円	+3.7 %
のれん等償却前 親会社株主に帰属する四半期純利益	181 億円	<b>189</b> 億円	+8 億円	+4.2 %
EPS (1株当たり四半期純利益)	215.77 円	<b>183.39</b> 円	△32.38 円	△15.0 %

### 業績の動向

- ▶ 売上高および営業利益の増加要因 : 自動車電池の販売数量の増加および産業電池電源の非常用の案件増加  
および販売価格是正の効果
- ▶ 経常利益の減少要因 : 為替差損益の悪化、持分法による投資利益の減少
- ▶ 四半期純利益の増加要因 : 前年度に計上した関係会社整理損がなくなったこと  
および非支配株主に帰属する四半期純利益の減少

# 1. 売上高・利益



(億円)

[参考] 2024 年度予想 (4-3月)

当初予想 (2024.5) ※ 修正予想 (2025.2)

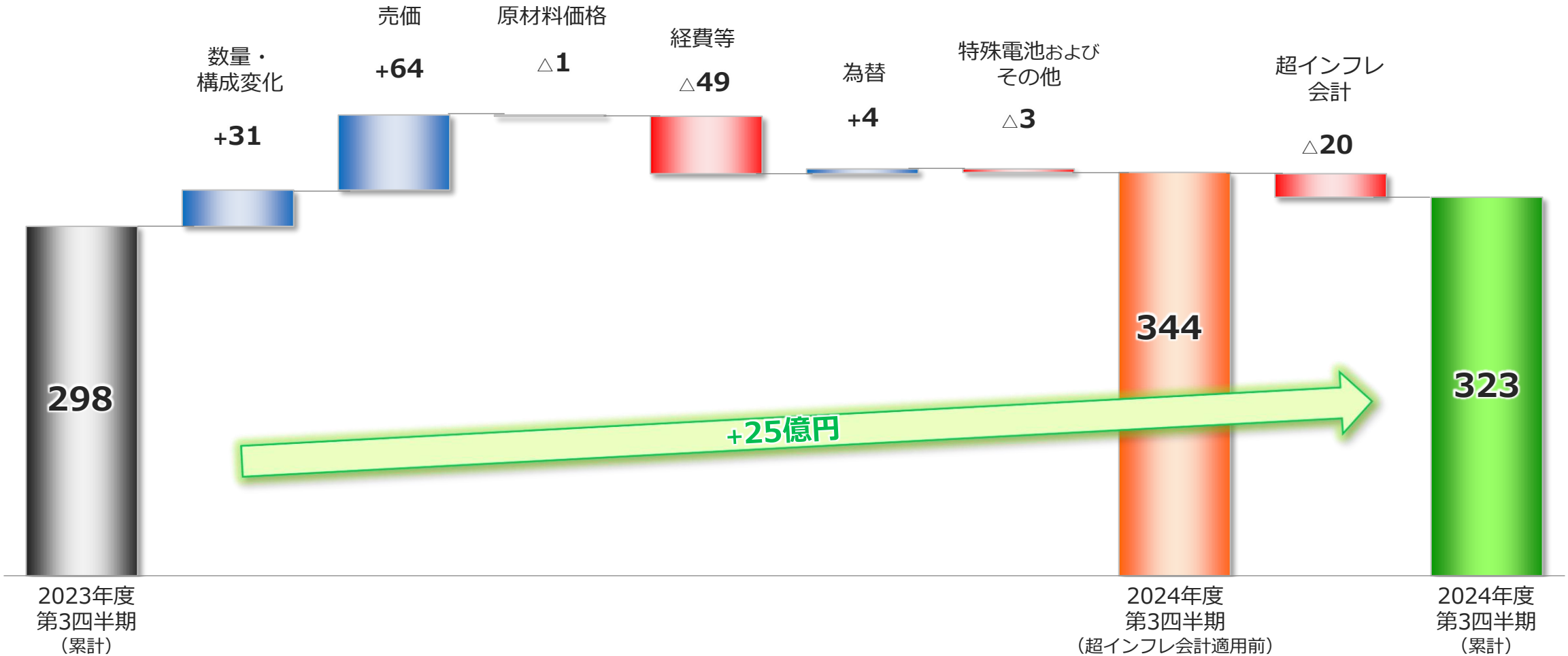
	2023 年度 第3四半期 (4-12月)		2024 年度 第3四半期 (4-12月)		増減 (前期比)			[参考] 2024 年度予想 (4-3月)			
								当初予想 (2024.5) ※	修正予想 (2025.2)		
売上高	4,116		<b>過去最高</b> 4,268		+152		(+3.7%)	5,900	5,900		
売上総利益	931		<b>996</b>		+65			-	-		
営業利益 (利益率)	294	7.1%	<b>過去最高</b> 318	7.4%	+24	+0.3P	(+8.2%)	440	470	7.5%	8.0%
のれん等償却前営業利益 (利益率)	298	7.2%	<b>過去最高</b> 323	7.6%	+25	+0.4P		445	478	7.5%	8.1%
営業外収益	52		<b>52</b>		+0			-	-		
営業外費用	56		<b>82</b>		+26			-	-		
うち持分法による投資損益 (△は損失)	30		<b>17</b>		△13			-	-		
経常利益	290	7.0%	<b>287</b>	6.7%	△3	△0.3P	(△0.8%)	440	440	7.5%	7.5%
特別利益	37		<b>11</b>		△26			-	-		
特別損失	38		<b>5</b>		△33			-	-		
税前四半期純利益	289		<b>293</b>		+4			-	-		
法人税等	61		<b>83</b>		+22			-	-		
非支配株主 四半期純利益	51		<b>25</b>		△26			-	-		
親会社株主 四半期純利益 (利益率)	177	4.3%	<b>過去最高</b> 184	4.3%	+7	△0.0P	(+3.7%)	260	270	4.4%	4.6%
のれん等償却前親会社株主 四半期純利益 (利益率)	181	4.4%	<b>過去最高</b> 189	4.4%	+8	+0.0P		265	278	4.5%	4.7%
EPS (1株当たり四半期純利益)	215.77 円		<b>183.39 円</b>		△32.38 円			259.21 円	269.19 円		
CF計算書 関係	減価償却費 (のれん除く無形固定資産含む)	168	<b>186</b>		+18			-	-		
	のれん償却費	2	<b>3</b>		+1			-	-		
相場情報/ 前提条件	国内鉛建値 (万円/t)	37.29 万円/t	<b>38.02 万円/t</b>		+0.73 万円/t			40.5 万円/t	40.5 万円/t		
	LME (US\$/t)	2,136 US\$/t	<b>2,071 US\$/t</b>		△65 US\$/t			2,200 US\$/t	2,200 US\$/t		
	為替 (円/US\$)	143.78 円/US\$	<b>153.03 円/US\$</b>		+9.25 円/US\$			155.00 円/US\$	155.00 円/US\$		

※ 前提条件のみ2024年11月の決算の際に変更しています。

# 1. 売上高・利益

## 営業利益増減要因（前年比較）

（億円）



(注) 営業利益はのれん等償却前営業利益です。2023年度 第3四半期は「超インフレ会計」適用前のため、比較のため「超インフレ会計適用前」の営業利益を表示しています。

# 1. 売上高・利益

## 営業外損益・特別損益・法人税等などの増減要因（前年比較）

（億円）

	2023 年度 第3四半期 (4-12月)	2024 年度 第3四半期 (4-12月)	増減
営業利益	294	<b>318</b>	+24
営業外収益	52	<b>52</b>	+0
営業外費用	56	<b>82</b>	+26
経常利益	290	<b>287</b>	△3
特別利益	37	<b>11</b>	△26
特別損失	38	<b>5</b>	△33
税金等調整前四半期純利益	289	<b>293</b>	+4
法人税等	61	<b>83</b>	+22
非支配株主に帰属する四半期純利益	51	<b>25</b>	△26
親会社株主に帰属する四半期純利益	177	<b>184</b>	+7

主な要因（）内は2024年度3Qの金額

- 持分法損益の減少 △14億円  
（持分法による投資利益 17億円）
- トルコの超インフレ会計適用による増加 +15億円  
（正味貨幣持高による利得 17億円）
- 主にトルコ拠点での支払利息の増加 △8億円  
（支払利息 36億円）
- 主にトルコリラ安による為替差損の拡大 △20億円  
（為替差損 23億円）



# 2. セグメント別業績



(億円)

		2023 年度 第3四半期 (4-12月)		2024 年度 第3四半期 (4-12月)		増減		[参考] 2024 年度予想 (4-3月)			
		売上高	営業利益 (利益率:%)	売上高	営業利益 (利益率:%)	売上高	営業利益 (利益率:P)	前回予想 (2024.11)		修正予想 (2025.2)	
自動車 電池	国内	689	52 (7.6)	<b>732</b>	<b>70</b> (9.6)	+43	+18 (+2.0)	1,000	85 (8.5)	1,000	90 (9.0)
	海外	1,907	134 (7.0)	<b>1,993</b>	<b>142</b> (7.1)	+86	+8 (+0.1)	2,590	175 (6.8)	2,640	178 (6.7)
産業電池電源		737	64 (8.7)	<b>772</b>	<b>101</b> (13.2)	+35	+37 (+4.5)	1,200	135 (11.3)	1,150	170 (14.8)
車載用 リチウムイオン電池		629	24 (3.9)	<b>604</b>	<b>△12</b> (△1.9)	△25	△36 (△5.8)	900	20 (2.2)	900	10 (1.1)
特殊電池およびその他		154	24 (15.4)	<b>168</b>	<b>20</b> (12.2)	+14	△4 (△3.2)	210	30 (14.3)	210	30 (14.3)
合計		4,116	298 (7.2)	<b>4,268</b>	<b>323</b> (7.6)	+152	+25 (+0.4)	5,900	445 (7.5)	5,900	478 (8.1)

### 24年度 第3四半期実績

- 国内自動車生産は新車メーカーの操業停止は徐々に回復が進むものの前年対比では減少
- LMEは安値で推移、国内鉛建値は円安により前年対比で若干高値が継続
- 為替は第2四半期には一定円高が進んだものの、前年対比では円安が継続

(注) 営業利益はのれん等償却前営業利益、営業利益率はのれん等償却前営業利益率です。

### <相場情報/ 前提条件>

	2023 年度 (4-12月)	2024 年度 (4-12月)	増減
国内鉛建値 (万円/t)	37.29	<b>38.02</b>	+0.73
LME (US\$/t)	2,136	<b>2,071</b>	△65
為替 (円/US\$)	143.78	<b>153.03</b>	+9.25

### [参考] 2024 年度予想 通期 (4-3月)

前回予想 (2024.11)		修正予想 (2025.2)	
40.5	40.5	40.5	40.5
2,200	2,200	2,200	2,200
155.00	155.00	155.00	155.00



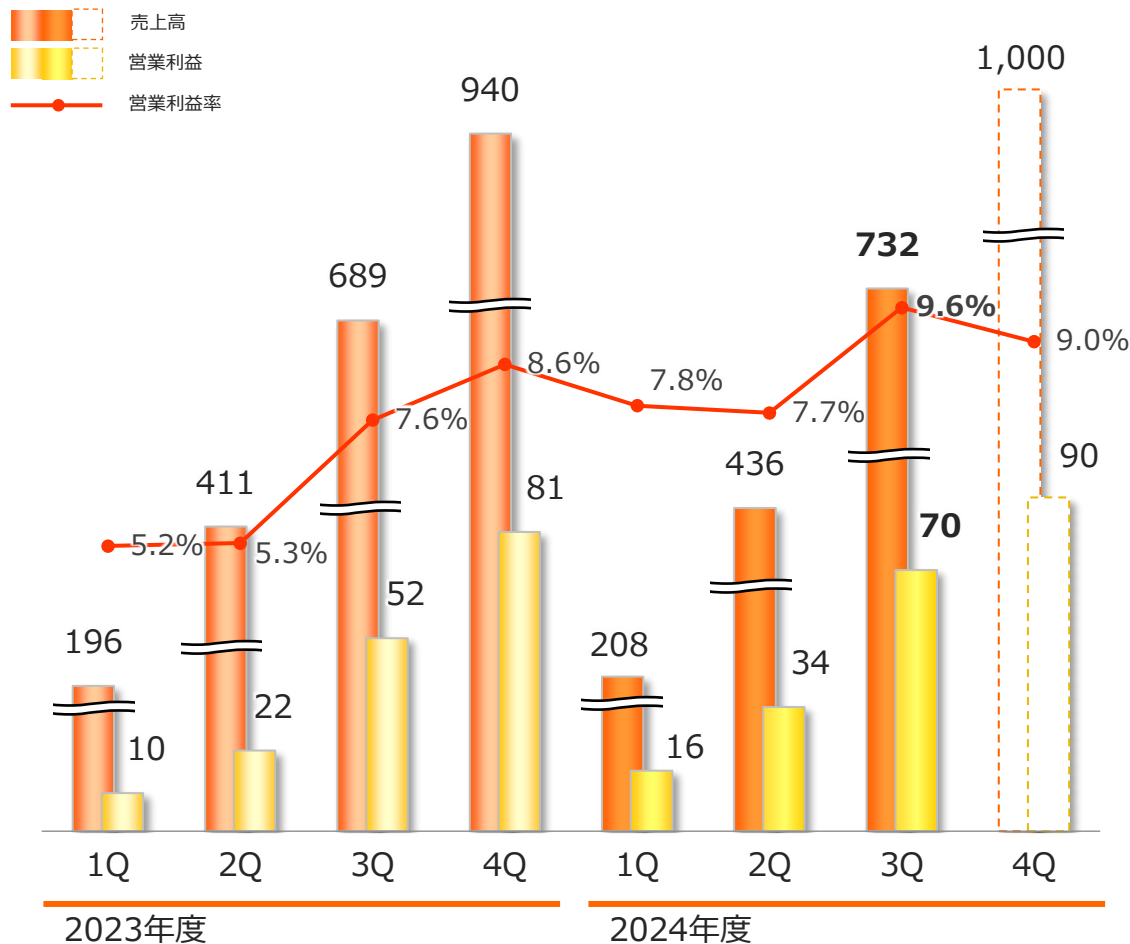
# 2. セグメント別業績 (自動車電池 (国内))

## 自動車電池 (国内)

## 増収増益

売上高・営業利益・利益率 (累計)

(億円)



(注) 営業利益はのれん等償却前営業利益、営業利益率はのれん等償却前営業利益率です。

2024年度 第3四半期商況 (4-12月)

- **[新車向け]** 販売数量は前年対比で減少しているものの、売価見直しにより売上高は増加
- **[補修向け]** 販売数量が増加したことにより売上高が増加

### 増減益要因 (前年比: 4-12月)

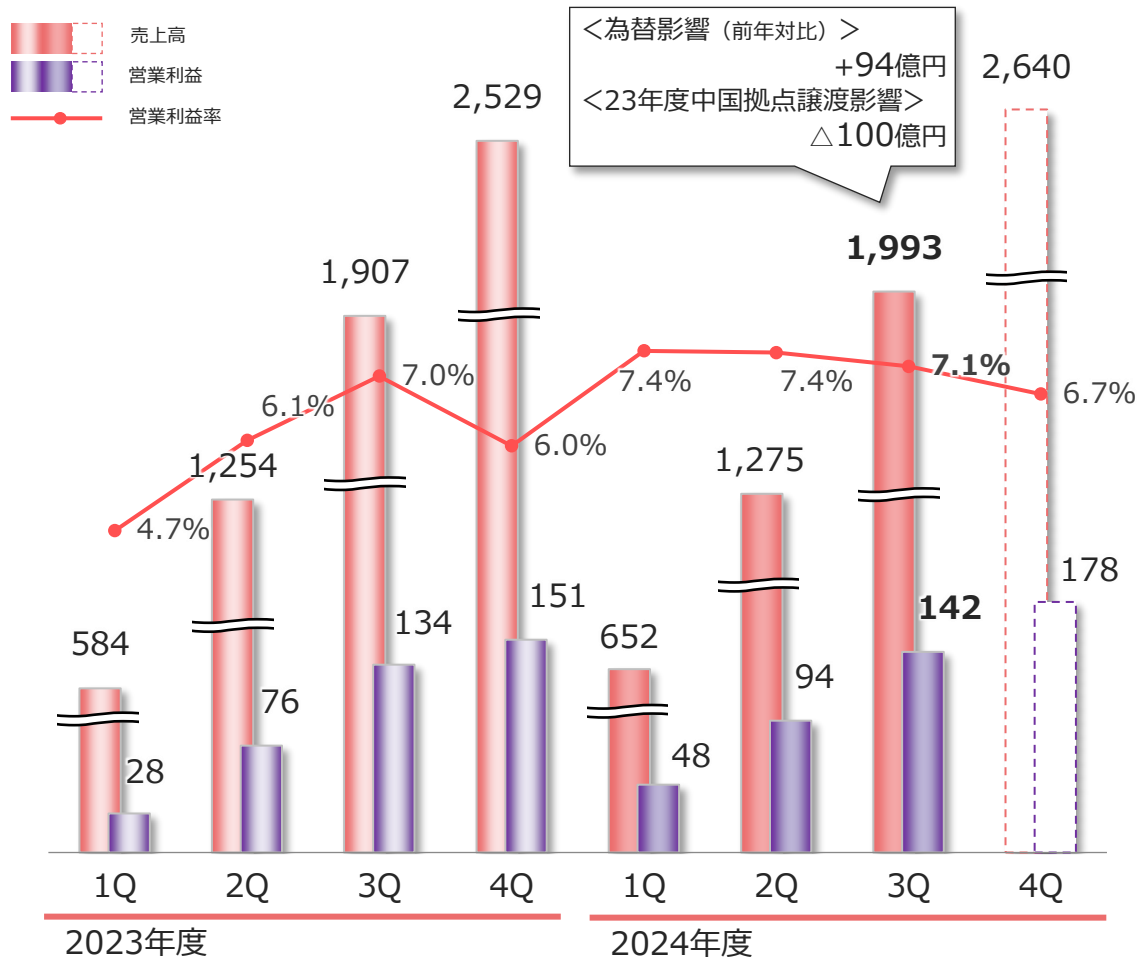
数量・構成変化	+4	補修向け数量増加
売価	+34	売価見直しにより増加
原材料価格	△15	円安・インフレによる原材料価格の上昇
経費等	△5	

## 2. セグメント別業績（自動車電池（海外））

### 自動車電池（海外）

### 増収増益

売上高・営業利益・利益率（累計）（億円）



(注) 営業利益はのれん等償却前営業利益、営業利益率はのれん等償却前営業利益率です。

2024年度 第3四半期商況（4-12月）

- ▶ [東南アジア]**

タイでは引き続き新車生産減の影響を受けて新車向けは減少したものの補修向けは堅調を維持、インドネシア・ベトナムは自動車用・オートバイ用ともに好調が継続
- ▶ [欧州]**

補修向けを販売している欧州市場では、トルコリラ安を背景とした競争力のある自動車用電池の販売数量が堅調に推移
- ▶ [豪州]**

「Made in Australia」により販売数量は堅調に推移するとともに、為替影響により売上高は増加

#### 増減益要因（前年比：4-12月）

数量・構成変化	+50	戦略拠点を中心に数量増加
売価	+85	コスト上昇の売価反映により増加
原材料価格	△37	インフレに伴う原材料価格の上昇
経費等	△72	インフレ影響による経費増加
為替	+4	円安による換算影響
超インフレ会計	△20	

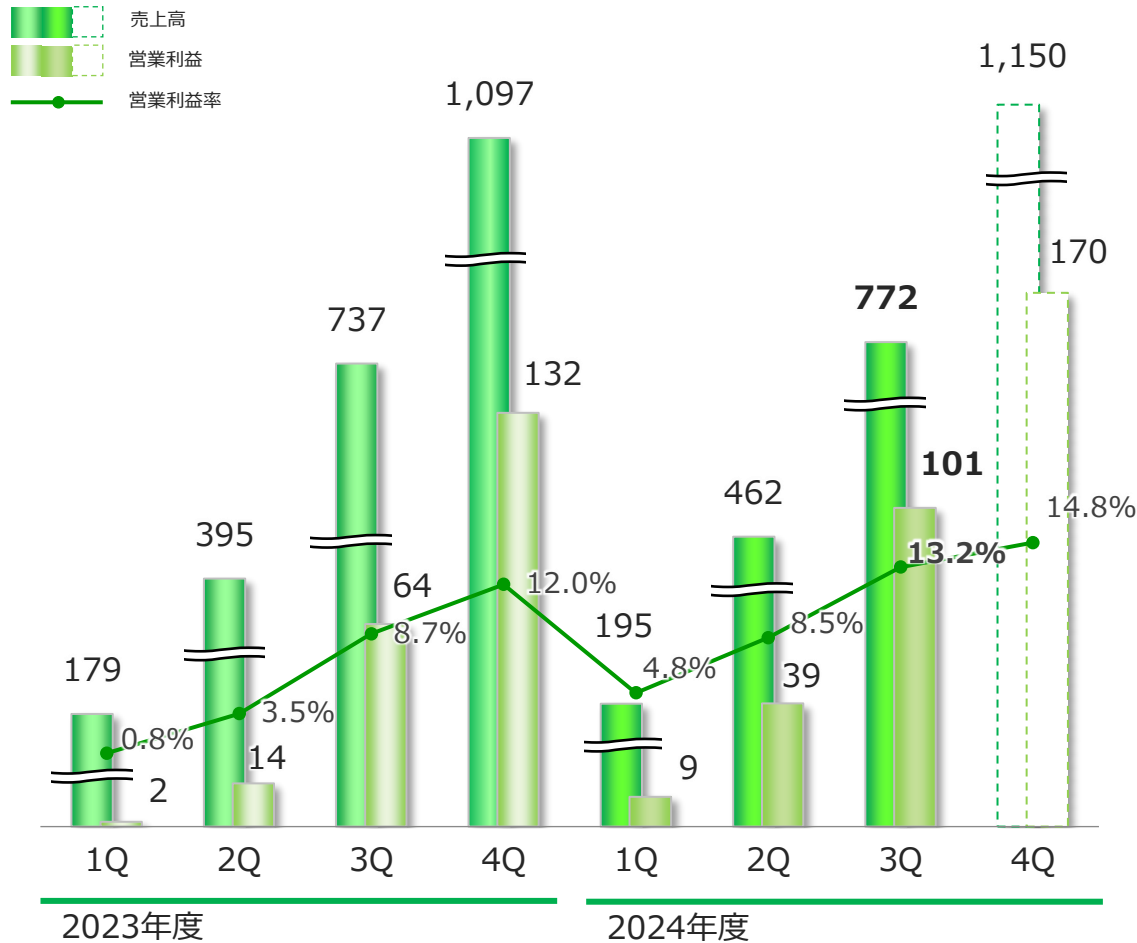
## 2. セグメント別業績 (産業電池電源)

### 産業電池電源

### 増収増益

売上高・営業利益・利益率 (累計)

(億円)



2024年度 第3四半期商況 (4-12月)

- ▶ [常用 (国内)]**

前年度 第3四半期に大型案件があった影響および補助金の関係による案件の来期以降への後ズレ影響もあり売上高は減少
- ▶ [非常用 (国内)]**

官公庁・原子力向けなどの好調、データセンター需要の拡大による販売増やミニUPSの納期改善に加えて、売価見直しもあり売上高は大きく増加
- ▶ [フォークリフト用 (グローバル)]**

売価見直しにより売上高は微増

増減益要因 (前年比: 4-12月)

数量・構成変化	+12	非常用の案件増加
売価	+35	売価見直しにより増加
原材料価格	△17	円安・インフレによる原材料価格の上昇
経費等	+8	

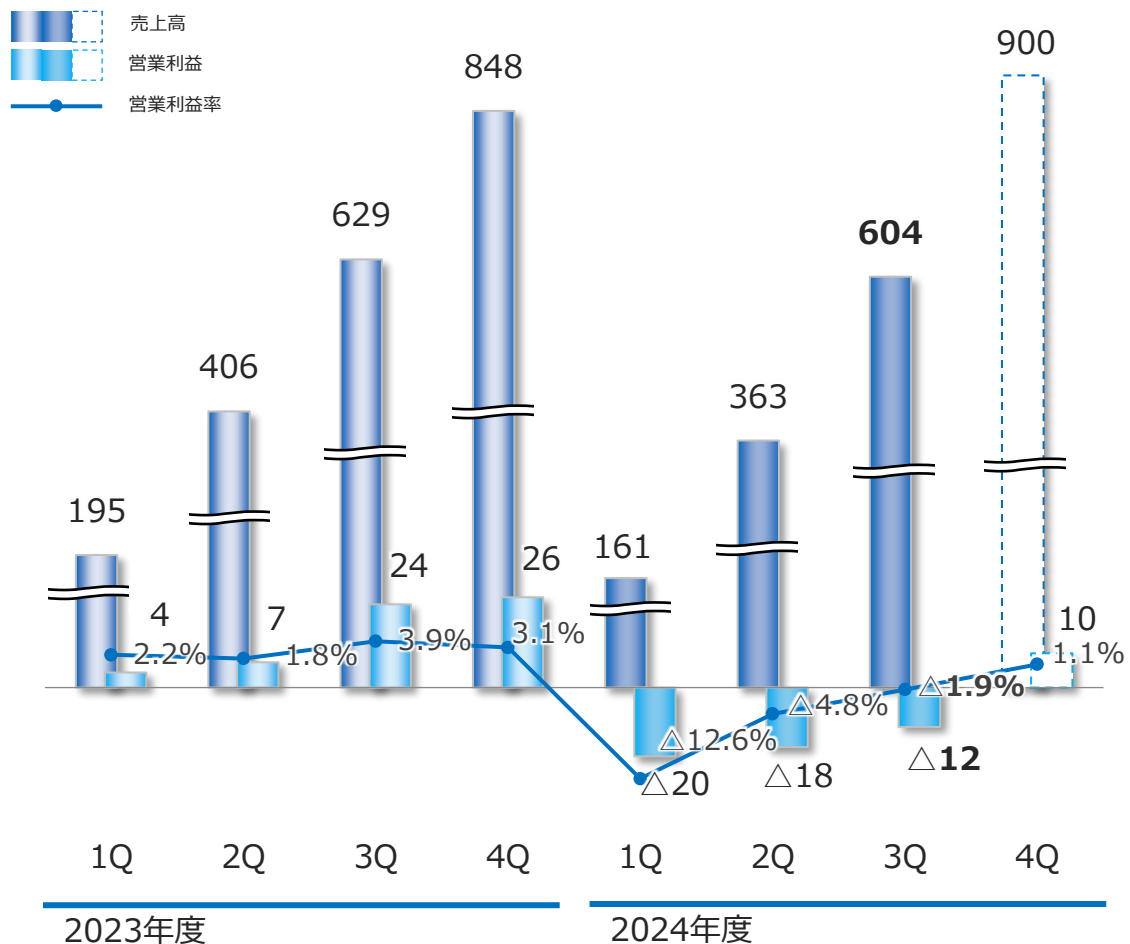
## 2. セグメント別業績 (車載用リチウムイオン電池)

### 車載用リチウムイオン電池

### 減収減益

売上高・営業利益・利益率 (累計)

(億円)



2024年度 第3四半期商況 (4-12月)

- **[HEV]** ホンダを中心に販売数量は増加しているものの、リチウム市況下落に伴う売価低下により、売上高は若干減少
- **[PHEV]** 新たな納入車種による販売増加はあるものの、上期までの販売数量の減少により売上高は減少
- **[12V LiB]** 販売数量の増加および売価見直しにより売上高は増加

増減益要因 (前年比: 4-12月)

数量・構成変化	△34	HEV用は増加したものの、PHEV用の販売数量の減少とそれに伴う操業度の低下影響
売価	△90	リチウム市況下落に伴う売価低下
原材料価格	+68	リチウム市況下落に伴う良化
経費等	+20	物量減に伴う経費減など

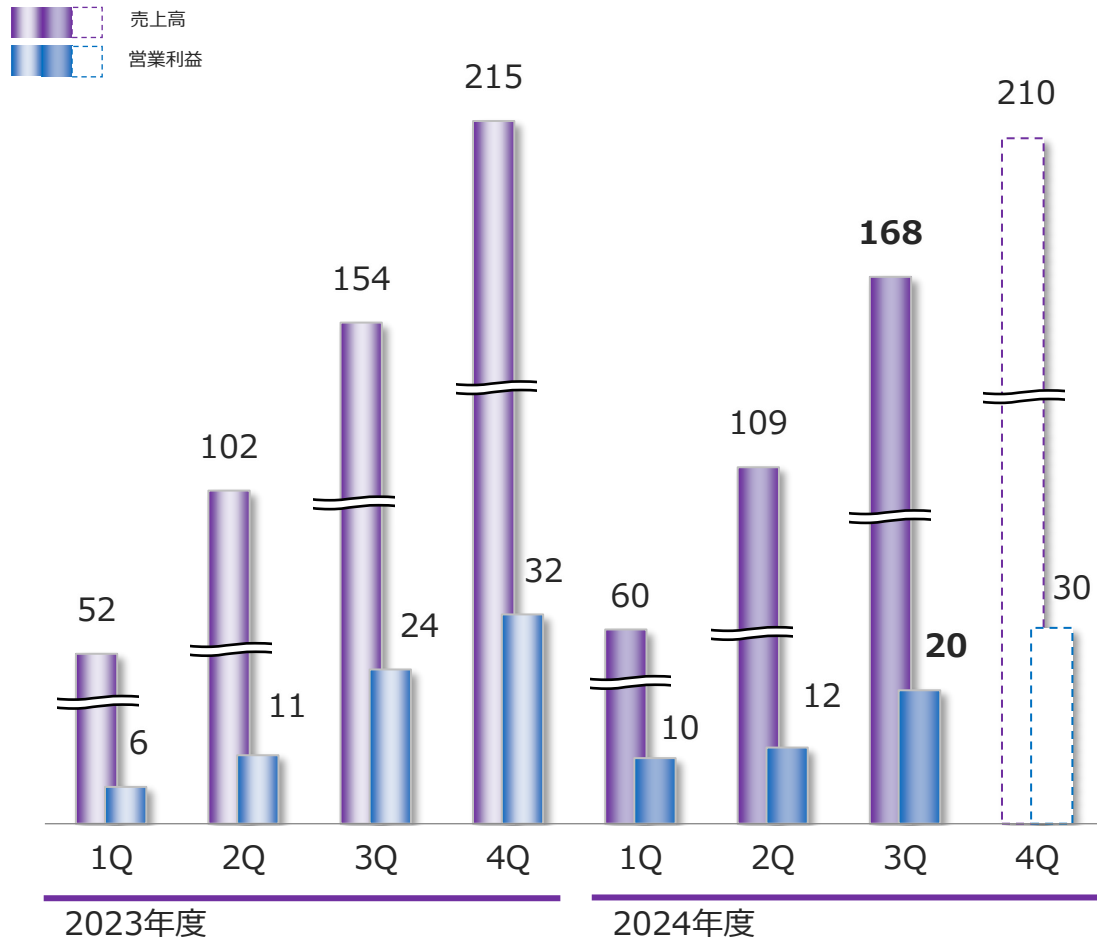
## 2. セグメント別業績 (特殊電池およびその他)

### 特殊電池およびその他

### 増収減益

売上高・営業利益 (累計)

(億円)



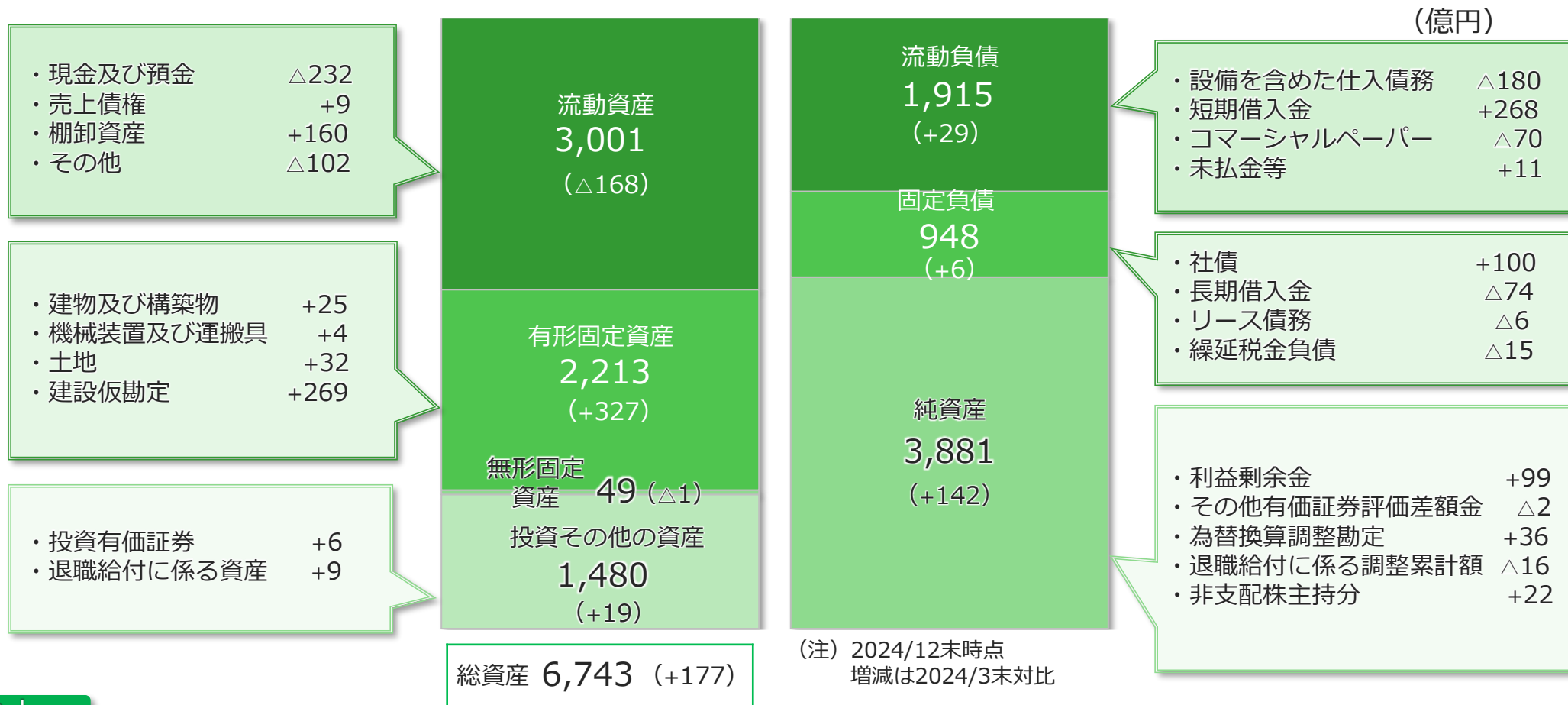
2024年度 第3四半期商況 (4-12月)

- ▶ **[潜水艦用リチウムイオン電池]** ↗  
 契約単価見直しにより売上高が増加
- ▶ **[航空機用リチウムイオン電池]** ↘  
 エアライン (補修) 向けは下期にかけて増加傾向ではあるものの、新設向けの減少もあり売上高は減少

増減益要因 (前年比: 4-12月)

潜水艦用リチウムイオン電池などの契約単価見直しがあったものの、管理部門の経費増加により減益

# 3. 貸借対照表



- ポイント**
- ▶ 産業電池電源で需要期に向けて在庫が増加
  - ▶ BEV用電池の製造に向けた土地取得およびHEV用LiBの7,000万セル/年の生産体制に向けて建設仮勘定が増加
  - ▶ 第2四半期のサステナビリティ・リンク・ボンド発行により社債が増加

	2024/3末	2024/12末
自己資本比率	50.3%	50.7%
借入金総額	762億円	986億円

# 2025年3月期 事業環境認識と業績予想

---



# 1. 2025年3月期 第4四半期の事業環境認識

自動車電池	国内	<p><b>新車生産は回復が進むとともに、補修向けは引き続き好調を想定</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>➤ &lt;新車向け&gt; 新車生産の回復とともに販売数量も徐々に正常化されていく見込み</li> <li>➤ &lt;補修向け&gt; 酷暑・寒波影響に加えて、コロナ禍で交換された電池の交換サイクルの影響もあり引き続き好調を想定</li> </ul>
	海外	<p><b>戦略拠点（アセアン・欧州・豪州）では引き続き販売数量好調を想定も、トルコ拠点などで若干の懸念あり</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>➤ &lt;アセアン&gt; タイは新車生産減があるものの補修向けは好調を維持、インドネシア・ベトナムは好調が継続する想定</li> <li>➤ &lt;欧州&gt; 欧州での補修向け電池販売は好調想定も、トルコ拠点・中近東エリアの地政学リスクによる影響懸念あり</li> <li>➤ &lt;豪州&gt; 「Made in Australia」により販売数量は好調維持を想定</li> </ul>
産業電池電源		<p><b>常用は引き続き旺盛な需要だが、補助金※の関係により納入時期の後ズレの影響を想定。非常用分野を中心にセグメント全体では引き続き好調を想定</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>➤ &lt;常用&gt; 旺盛な需要を背景に多数引き合いが来ているものの、補助金の関係で来期以降への納期後ズレの影響を想定</li> <li>➤ &lt;非常用&gt; 官公庁・原子力を中心とした案件増および売価見直しによる好調を引き続き想定</li> <li>➤ &lt;フォークリフト&gt; 売価見直しにより堅調を維持する想定</li> </ul> <p><small>※一般社団法人 環境共創イニシアチブ「令和6年度 系統用蓄電池・水電解装置導入支援事業」（<a href="https://sii.or.jp/chikudenchi06/">https://sii.or.jp/chikudenchi06/</a>）-補助事業期間の最終完了期限が「2027年1月19日（火）」まで対象</small></p>
車載用リチウムイオン電池		<p><b>HEV向けは第1四半期を中心としたリチウム市況下落による原材料・売価のスプレッド悪化影響の改善に加えて、ホンダ向けを中心とした数量増により改善が進むものの、PHEV向け販売数量は計画より大きく減少しており、通期でも継続して数量減少を想定</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>➤ &lt;HEV&gt; 第1四半期を中心としたリチウム市況下落による原材料・売価のスプレッド悪化影響の改善に加えて、ホンダ向けを中心とした数量増などにより改善は進む</li> <li>➤ &lt;PHEV&gt; 販売数量は計画より大きく減少しており、通期でも継続して数量減少を想定</li> </ul>
特殊電池およびその他		<p><b>潜水艦向けは売価見直しの影響が続くとともに、航空機向けもエアライン（補修）向けは改善を想定</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>➤ &lt;潜水艦向け&gt; 契約単価見直しによる値上げ影響は引き続き継続する想定</li> <li>➤ &lt;航空機向け&gt; 新設向けの減少、エアライン（補修）向けの増加傾向は継続する想定</li> <li>➤ &lt;管理部門&gt; 期末にかけて若干の経費の増加を想定</li> </ul>

## 2. セグメント別業績予想の修正

(億円)

		2023 年度 実績		2024 年度 11月予想 (B)		2024 年度 2月予想 (A)		増減 ( (A)-(B) )		[参考] 2024 年度当初予想	
		売上高	営業利益 (利益率:%)	売上高	営業利益 (利益率:%)	売上高	営業利益 (利益率:%)	売上高	営業利益 (利益率:P)	売上高	営業利益 (利益率:%)
自動車電池	国内	940	81 (8.6)	1,000	85 (8.5)	<b>1,000</b>	<b>90</b> (9.0)	-	+5 (+0.5)	1,000	80 (8.0)
	海外	2,529	151 (6.0)	2,590	175 (6.8)	<b>2,640</b>	<b>178</b> (6.7)	+50	+3 (△0.1)	2,590	165 (6.4)
産業電池電源		1,097	132 (12.0)	1,200	135 (11.3)	<b>1,150</b>	<b>170</b> (14.8)	△50	+35 (+3.5)	1,200	130 (10.8)
車載用リチウムイオン電池		848	26 (3.1)	900	20 (2.2)	<b>900</b>	<b>10</b> (1.1)	-	△10 (△1.1)	900	40 (4.4)
特殊電池およびその他		215	32 (14.9)	210	30 (14.3)	<b>210</b>	<b>30</b> (14.3)	-	- (-)	210	30 (14.3)
合計		5,629	422 (7.5)	5,900	445 (7.5)	<b>5,900</b>	<b>478</b> (8.1)	-	+33 (+0.6)	5,900	445 (7.5)

### セグメント別修正理由

- <自動車電池（国内／海外）・産業電池電源>  
数量増や売価見直しによる上振れ、円安影響を反映して見通しを上方修正
- <車載用リチウムイオン電池>  
HEV向けで原材料・売価のスプレッド影響および数量の改善は進んでいるものの、PHEV向け数量減などのマイナス影響の挽回は厳しく見通しを下方修正

(注) 営業利益はのれん等償却前営業利益、営業利益率はのれん等償却前営業利益率です。

<相場情報/ 前提条件>	2023 年度 実績	2024 年度 11月予想 (A)	2024 年度 2月予想 (B)	増減 ( (B)-(A) )	[参考] 2024 年度 当初予想
国内鉛建値 (万円/t)	37.34	40.5	<b>40.5</b>	±0.0	37.2
LME (US\$/t)	2,121	2,200	<b>2,200</b>	±0	2,200
為替 (円/US\$)	145.31	155.00	<b>155.00</b>	±0.00	145.00

# 3. 売上高・利益予想の修正



	2023 年度実績		2024 年度実績・予想				(億円)		
	3Q累計実績 (4-12月)	通期実績 (4-3月)	3Q累計実績 (4-12月)	当初予想※ (4-3月) (B)		2月通期予想 (4-3月) (A)		増減 ((A)-(B))	(前期比)
売上高	4,116	5,629	4,268	5,900		<b>5,900</b>		±0	(+4.8%)
営業利益 (利益率)	294 7.1%	416 7.4%	318 7.4%	440 7.5%		<b>470 8.0%</b>		+30 +0.5P	(+13.0%)
のれん等償却前営業利益 (利益率)	298 7.2%	422 7.5%	323 7.6%	445 7.5%		<b>478 8.1%</b>		+33 +0.6P	
経常利益	290 7.0%	440 7.8%	287 6.7%	440 7.5%		<b>440 7.5%</b>		±0 ±0.0P	(±0.0%)
親会社株主 当期純利益 (利益率)	177 4.3%	321 5.7%	184 4.3%	260 4.4%		<b>270 4.6%</b>		+10 +0.2P	(△15.8%)
のれん等償却前親会社株主 当期純利益 (利益率)	181 4.4%	326 5.8%	189 4.4%	265 4.5%		<b>278 4.7%</b>		+13 +0.2P	
EPS (1株当たり当期純利益)	215.77 円	369.74 円	183.39 円	259.21 円		<b>269.19 円</b>		+9.98 円	
配当金 (円/株) (24年度は予想)	-	70 円 (通期)	-	70 円 (通期)		<b>70 円 (通期)</b>		±0 円	
相場情報/前提条件	国内鉛建値 (万円/t)	37.29 万円/t	37.34 万円/t	38.02 万円/t	40.5 万円/t		<b>40.5 万円/t</b>		±0.00 万円/t
	L M E (US\$/t)	2,136 US\$/t	2,121 US\$/t	2,071 US\$/t	2,200 US\$/t		<b>2,200 US\$/t</b>		±0 US\$/t
	為替 (円/US\$)	143.78 円/US\$	145.31 円/US\$	153.03 円/US\$	155.00 円/US\$		<b>155.00 円/US\$</b>		±0.00 円/US\$

※ 前提条件のみ2024年11月の決算の際に変更しています。

## 業績の見通し

- 自動車電池（国内/海外）・産業電池電源の販売増加や売価見直しを踏まえて営業利益予想を上方修正しました。経常利益についてはトルコ拠点の支払利息の増加や為替差損の悪化もあり据え置き。親会社株主に帰属する当期純利益は非支配株主に帰属する当期純利益の減少もあり上方修正しています。配当予想については現時点では見直していません。

本資料は、当社グループの業績等についての一般的な情報提供を目的とするものです。本書に含まれる予測、予想、計画その他の将来情報は、当社において利用可能な情報に基づく現時点における当社の認識又は判断に基づくものであり、実際の結果はこれらの情報と大きく異なることがあります。また、当社は、本資料に記載された情報に変更又は更新があった場合にも、その内容を提供又は開示する義務を負うものではありません。



連絡先

株式会社 ジーエス・ユアサ コーポレーション  
コーポレート室（広報） 青木 裕・西島 務・田中 祥太・神田 文  
Tel : 075-312-1214  
<https://www.gs-yuasa.com/jp>

## 參考資料

---

# 参考資料. 売上高・利益 (3か月情報)



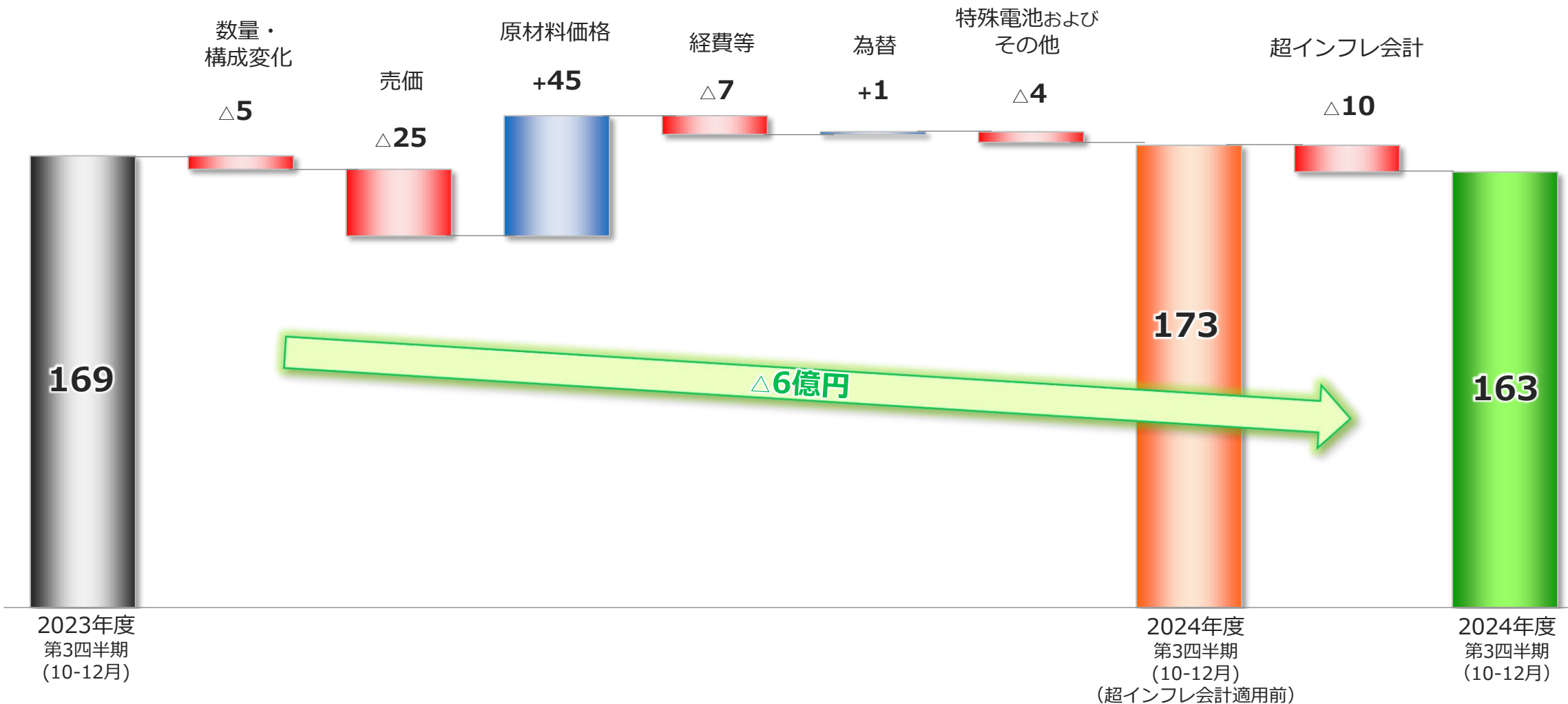
(億円)

[参考] 前四半期情報

	2023 年度 第3四半期 (10-12月)	2024 年度 第3四半期 (10-12月) (A)	増減	(前期比)	[参考] 前四半期情報		
					2024年度 第2四半期 (7-9月) (B)	増減 ((A)-(B))	
売上高	1,548	<b>1,623</b>	+75	(+4.9%)	1,369	+254	
売上総利益	380	<b>395</b>	+15		316	+79	
営業利益 (利益率)	167 10.8%	<b>161 9.9%</b>	△6 △0.9P	(△3.9%)	95 7.0%	+66 +2.9P	
のれん等償却前営業利益 (利益率)	169 10.9%	<b>163 10.0%</b>	△6 △0.9P		97 7.1%	+66 +2.9P	
営業外収益	23	<b>16</b>	△7		14	+2	
営業外費用	20	<b>34</b>	+14		31	+3	
うち持分法による投資損益 (△は損失)	17	<b>1</b>	△16		8	△7	
経常利益	170 11.0%	<b>142 8.8%</b>	△28 △2.2P	(△16.1%)	78 5.7%	+64 +3.1P	
特別利益	32	<b>10</b>	△22		0	+10	
特別損失	30	<b>3</b>	△27		1	+2	
税前四半期純利益	172	<b>149</b>	△23		77	+72	
法人税等	32	<b>50</b>	+18		25	+25	
非支配株主 四半期純利益	22	<b>9</b>	△13		5	+4	
親会社株主 四半期純利益 (利益率)	118 7.6%	<b>90 5.5%</b>	△28 △2.1P	(△23.7%)	46 3.4%	+44 +2.1P	
のれん等償却前親会社株主 四半期純利益 (利益率)	119 7.7%	<b>92 5.7%</b>	△27 △2.0P		48 3.5%	+44 +2.2P	
CF計算書 関係	減価償却費 (のれん除く無形固定資産含む)	55	<b>71</b>	+16		57	+14
	のれん償却費	1	<b>1</b>	+0		1	+0
相場情報	国内鉛建値 (万円/t)	38.19 万円/t	<b>36.88 万円/t</b>	△1.31 万円/t		37.20 万円/t	△0.32 万円/t
	LME (US\$/t)	2,119 US\$/t	<b>2,006 US\$/t</b>	△113 US\$/t		2,041 US\$/t	△35 US\$/t
	為替 (円/US\$)	146.14 円/US\$	<b>154.19 円/US\$</b>	+8.05 円/US\$		146.66 円/US\$	+7.53 円/US\$

## 営業利益増減要因 (前年比較)

(億円)



(注) 営業利益はのれん等償却前営業利益です。2023年度 第3四半期は「超インフレ会計」適用前のため、比較のため「超インフレ会計適用前」の営業利益を表示しています。



# 参考資料. セグメント別業績 (3か月情報)



(億円)

		2023 年度 第3四半期 (10-12月)		2024 年度 第3四半期 (10-12月) (A)		増減		[参考] 前四半期情報			
		売上高	営業利益 (利益率:%)	売上高	営業利益 (利益率:%)	売上高	営業利益 (利益率:P)	2024年度 第2四半期 (7-9月) (B)		増減 ((A)-(B))	
自動車 電池	国内	278	30 (10.9)	<b>296</b>	<b>37</b> (12.5)	+18	+7 (+1.6)	227	17 (7.6)	+69	+20 (+4.9)
	海外	652	58 (8.8)	<b>718</b>	<b>49</b> (6.8)	+66	△9 (△2.0)	623	46 (7.3)	+95	+3 (△0.5)
産業電池電源		342	51 (14.8)	<b>310</b>	<b>62</b> (20.1)	△32	+11 (+5.3)	267	30 (11.2)	+43	+32 (+8.9)
車載用 リチウムイオン電池		224	17 (7.6)	<b>241</b>	<b>6</b> (2.5)	+17	△11 (△5.1)	203	3 (1.3)	+38	+3 (+1.2)
特殊電池およびその他		51	13 (25.5)	<b>58</b>	<b>9</b> (15.0)	+7	△4 (△10.5)	50	2 (3.3)	+8	+7 (+11.7)
合計		1,548	169 (10.9)	<b>1,623</b>	<b>163</b> (10.0)	+75	△6 (△0.9)	1,369	97 (7.1)	+254	+66 (+2.9)

## 24年度 第3四半期 (10-12月) 実績

- 国内自動車生産は新車メーカーの生産回復が進むものの前年同期比では減少
- LMEは安値で推移、国内鉛建値は円安により前年対比で若干高値が継続
- 為替は第2四半期は日銀利上げなどにより円高が進んだものの、第3四半期は円安基調

<相場情報>	2023 年度 第3四半期 (10-12月)	2024 年度 第3四半期 (10-12月) (A)	増減	[参考] 前四半期情報	
				2024年度 第2四半期 (7-9月) (B)	増減 (A)-(B)
国内鉛建値 (万円/t)	38.19	<b>36.88</b>	△1.31	37.20	△0.32
LME (US\$/t)	2,119	<b>2,006</b>	△113	2,041	△35
為替 (円/US\$)	146.14	<b>154.19</b>	+8.05	146.66	+7.53

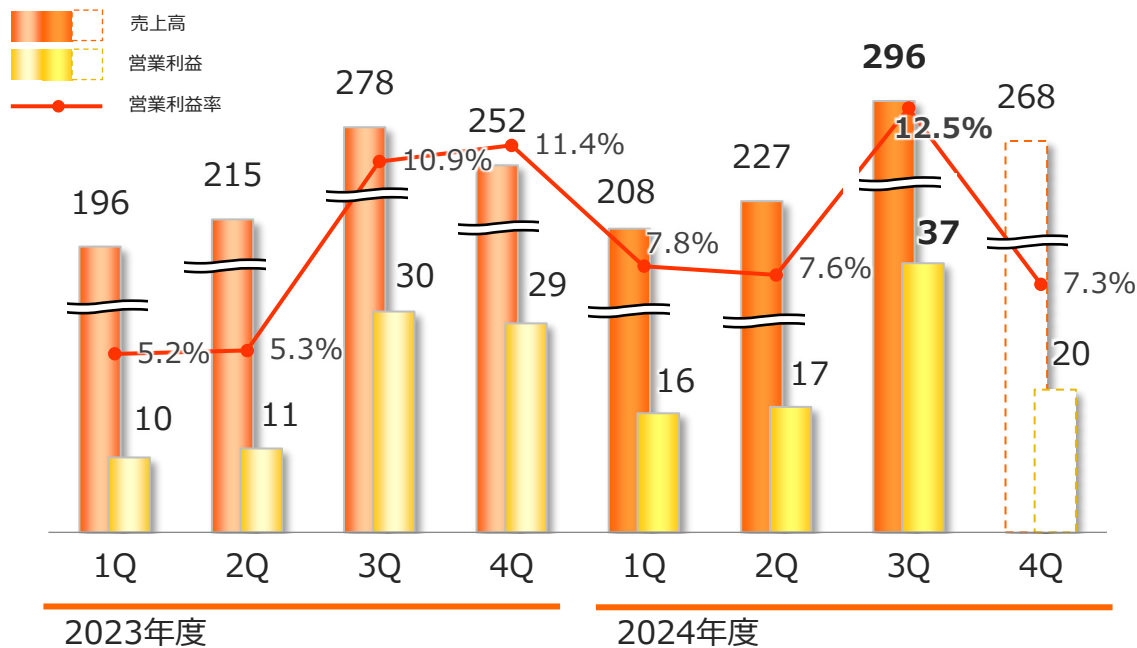
(注) 営業利益はのれん等償却前営業利益、営業利益率はのれん等償却前営業利益率です。

# 参考資料. セグメント別業績 (3か月情報)

## 自動車電池 (国内)

## 増収増益

売上高・営業利益・利益率 (3か月) (億円)

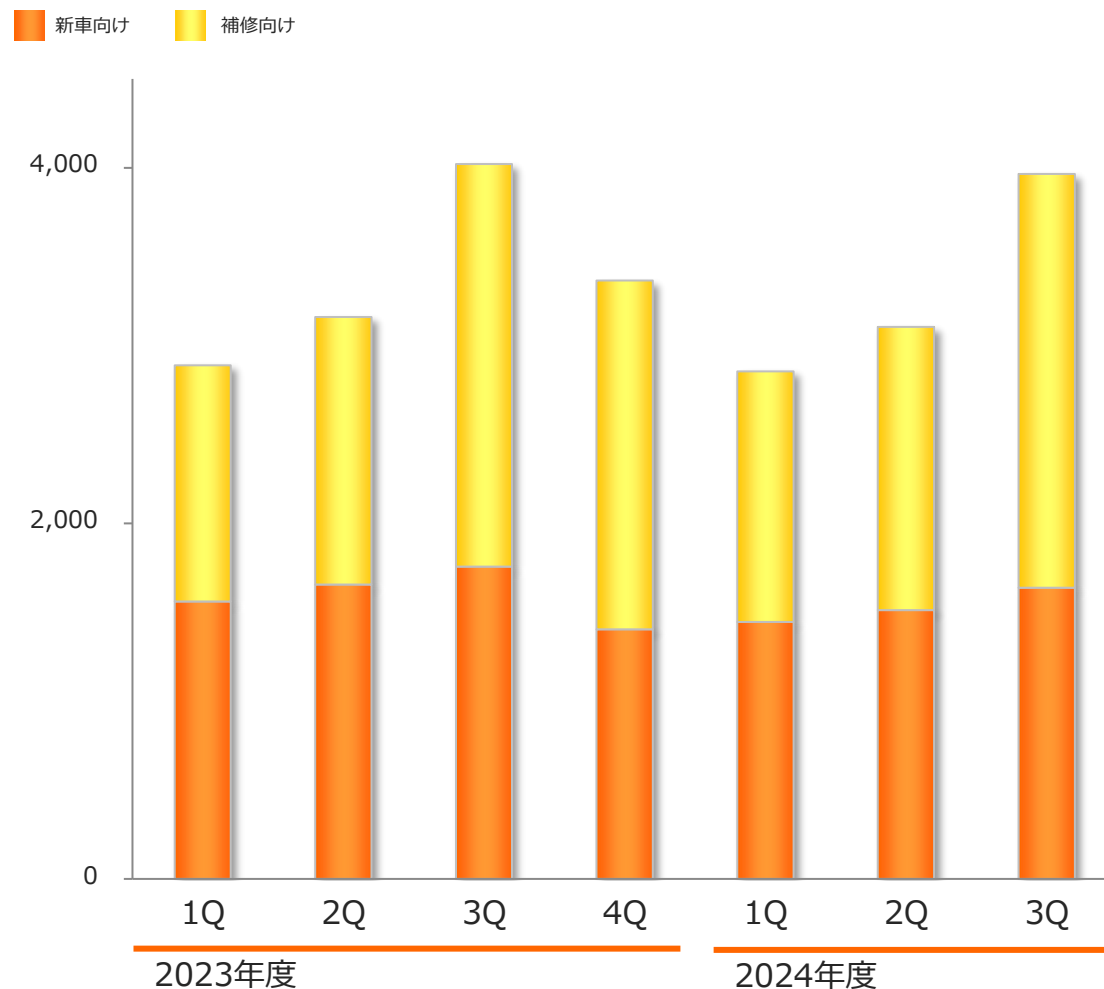


### 増減益要因 (前年比: 10-12月)

数量・構成変化	+1
売価	+14 売価見直しにより増加
原材料価格	△7 円安・インフレによる原材料価格の上昇
経費等	△1

(注) 営業利益はのれん等償却前営業利益、営業利益率はのれん等償却前営業利益率です。

新車向け・補修向けの出荷数量推移 (千個)

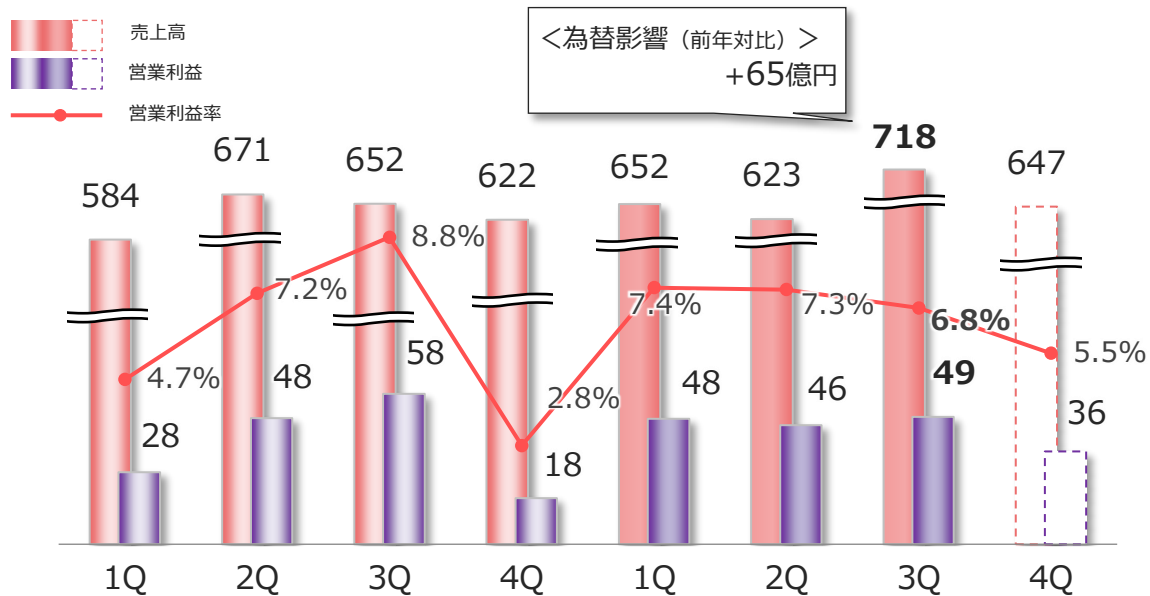


# 参考資料. セグメント別業績 (3か月情報)

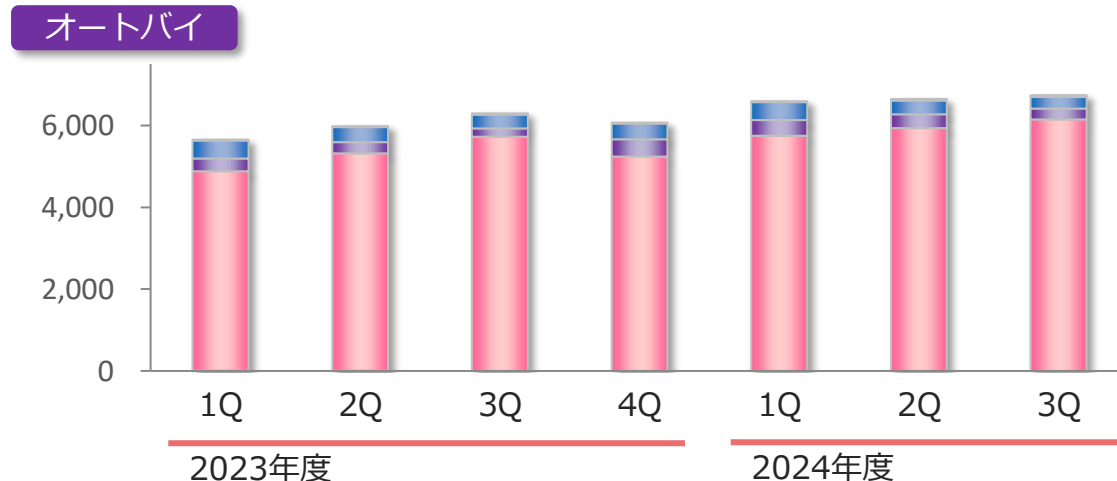
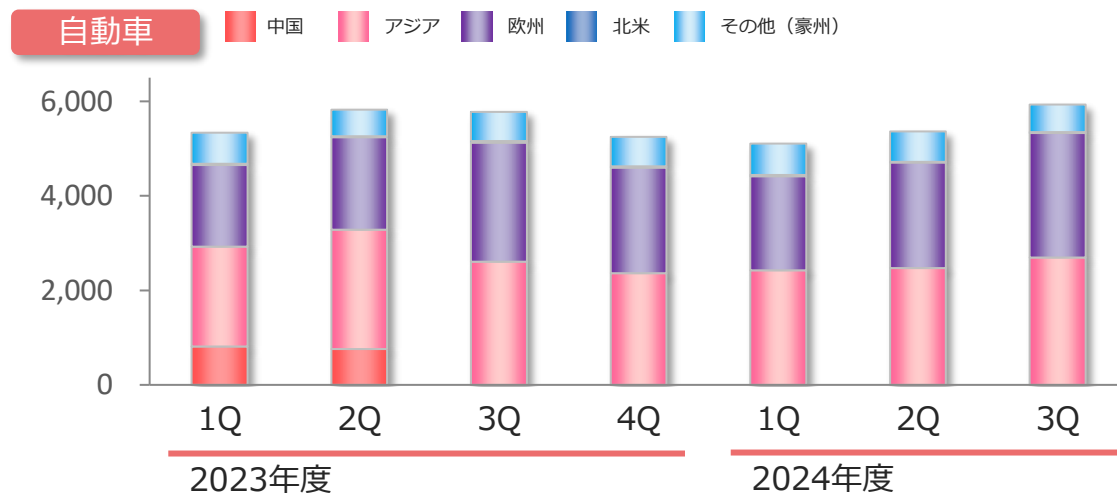
## 自動車電池 (海外)

## 増収減益

売上高・営業利益・利益率 (3か月) (億円)



地域別自動車・オートバイ用出荷数量推移 (千個)



### 増減益要因 (前年比: 10-12月)

数量・構成変化	+7	戦略拠点を中心に数量増加
売価	+12	コスト上昇の売価反映により増加
原材料価格	+7	原材料価格の下落による改善
経費等	△26	インフレ影響による経費増加
為替	+1	円安による為替影響
超インフレ会計	△10	

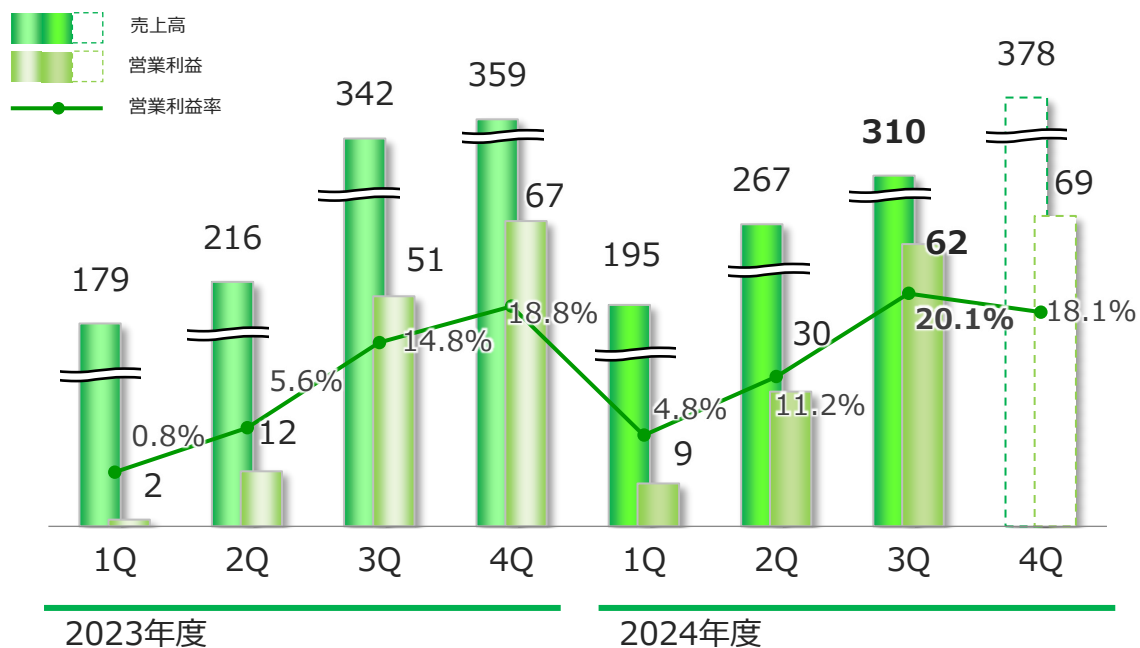
(注) 営業利益はのれん等償却前営業利益、営業利益率はのれん等償却前営業利益率です。

# 参考資料. セグメント別業績 (3か月情報)

## 産業電池電源

## 減収増益

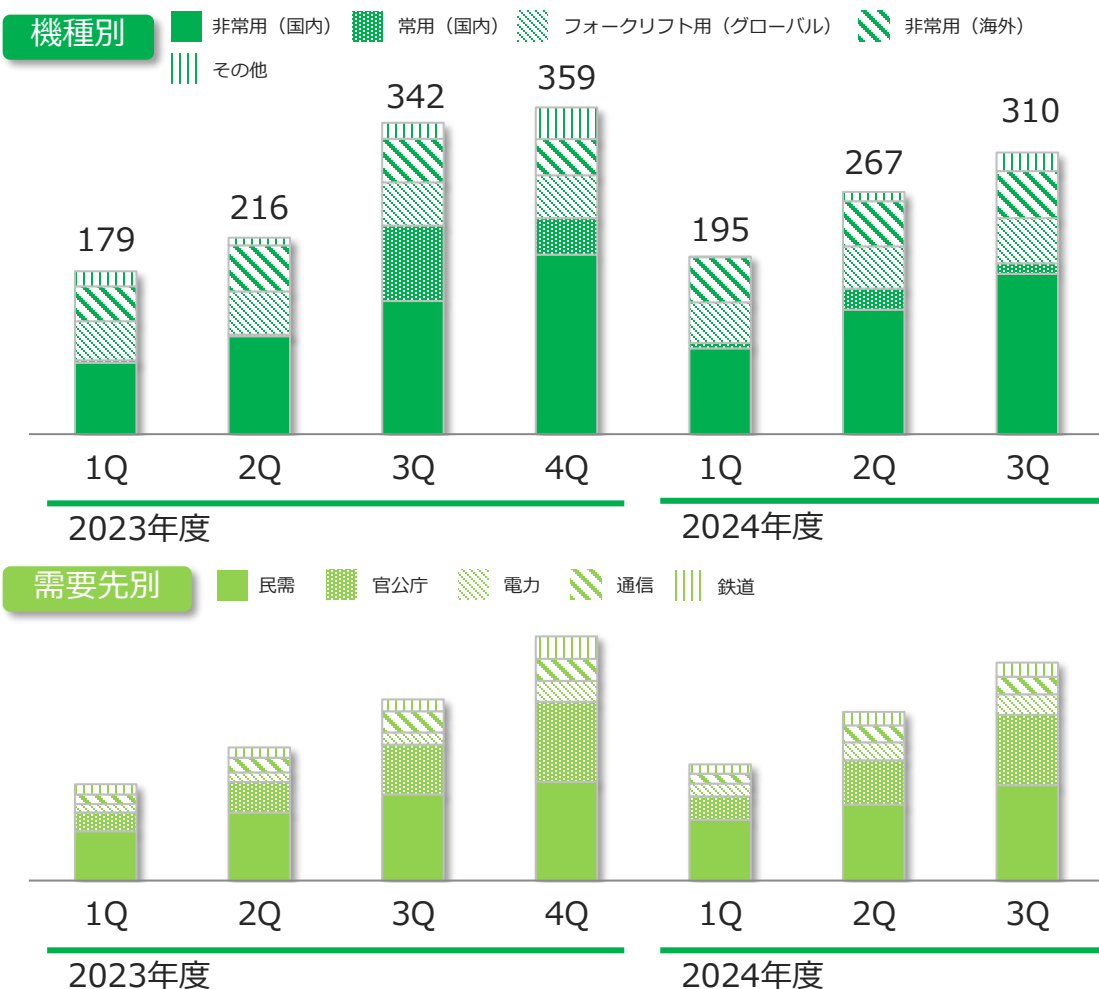
売上高・営業利益・利益率 (3か月) (億円)



### 増減益要因 (前年比: 10-12月)

数量・構成変化	+1	非常用の案件増加
売価	+13	売価見直しにより増加
原材料価格	△6	円安・インフレによる原材料価格の上昇
経費等	+3	

機種別・需要先別 (非常用 (国内)) 売上高推移 (億円)

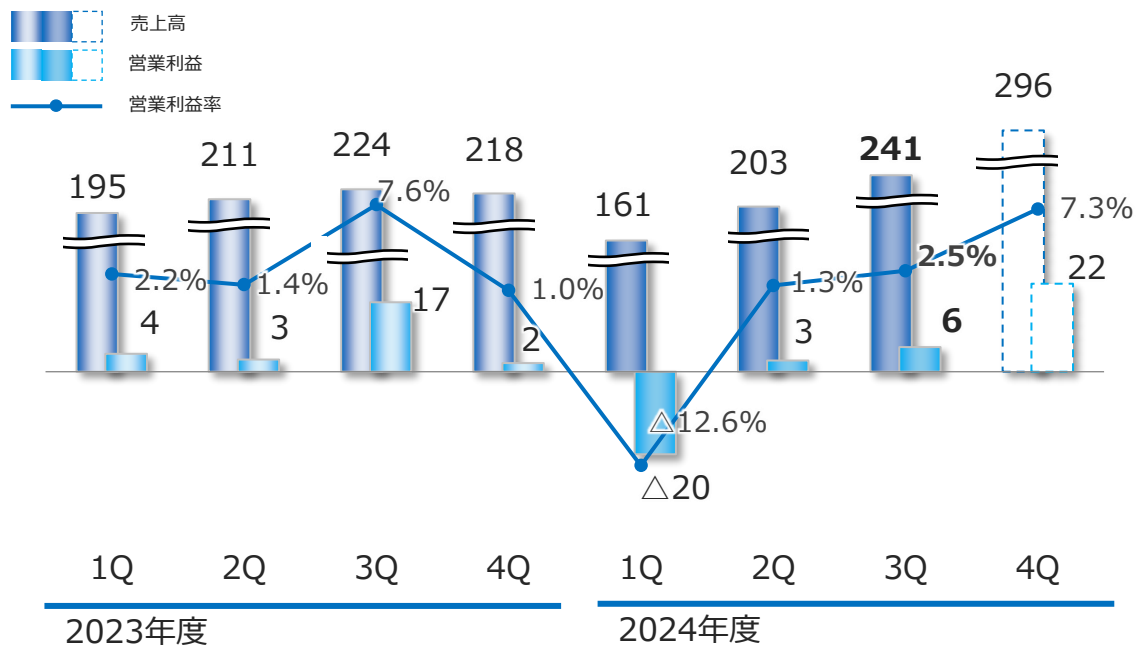


# 参考資料. セグメント別業績 (3か月情報)

## 車載用リチウムイオン電池

## 増収減益

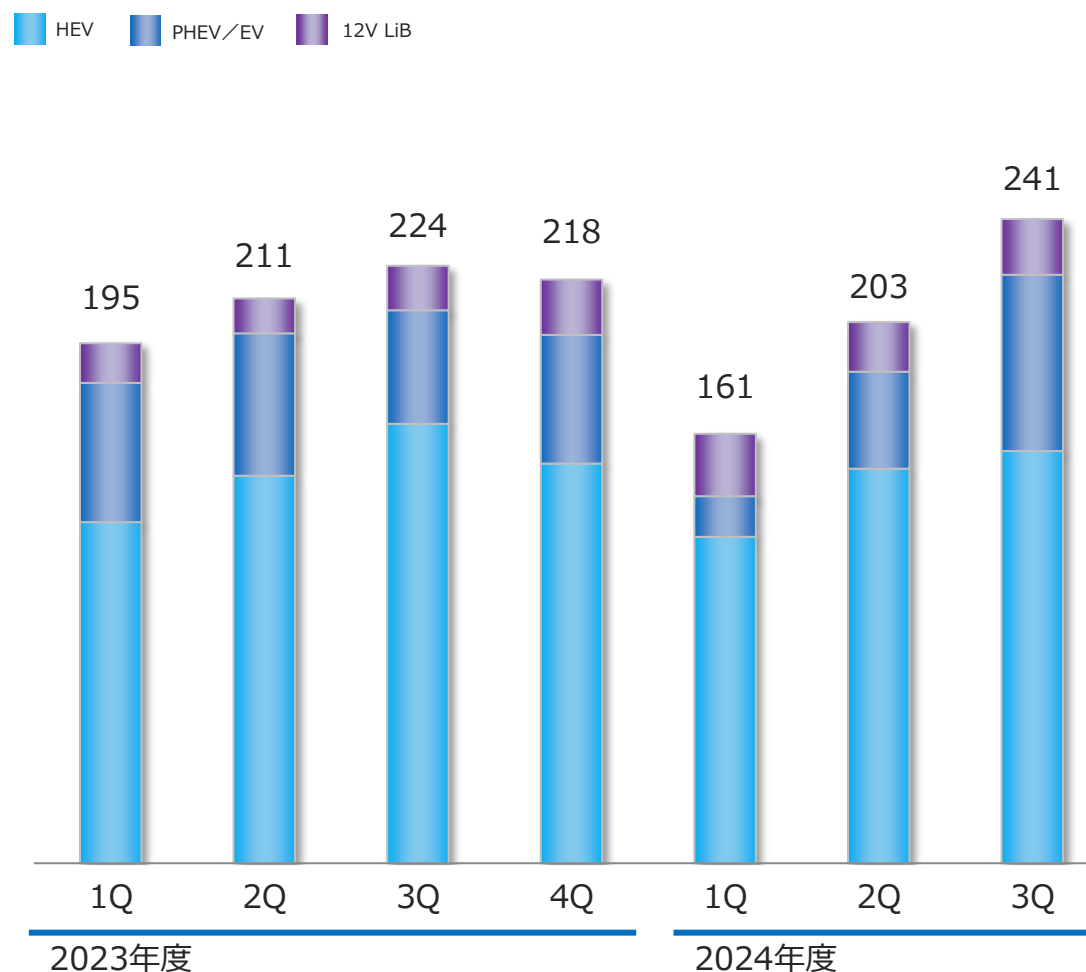
売上高・営業利益・利益率 (3か月) (億円)



増減益要因 (前年比: 10-12月)

数量・構成変化	△14	PHEV用の増加があったものの、HEV用の販売数量の減少とそれに伴う操業度の低下影響
売価	△64	リチウム市況下落に伴う売価低下
原材料価格	+50	リチウム市況下落に伴う改善
経費等	+17	物量減に伴う経費減など

HEV・PHEV/EV・12V LiB 売上高推移 (億円)



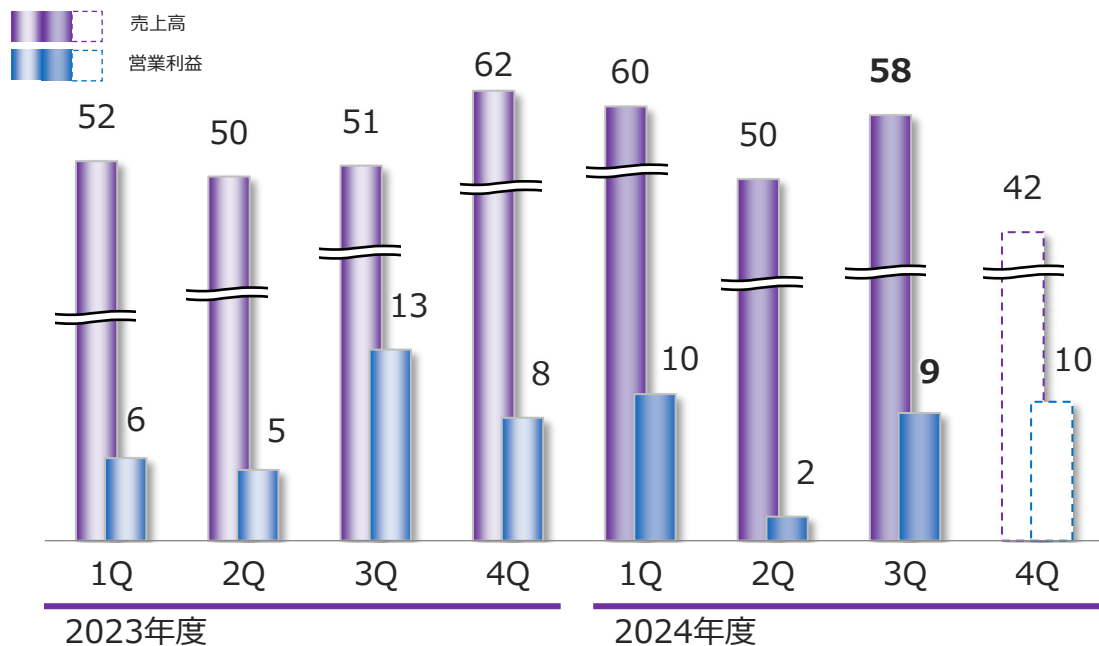
# 参考資料. セグメント別業績 (3か月情報)

## 特殊電池およびその他

## 増収減益

売上高・営業利益 (3か月)

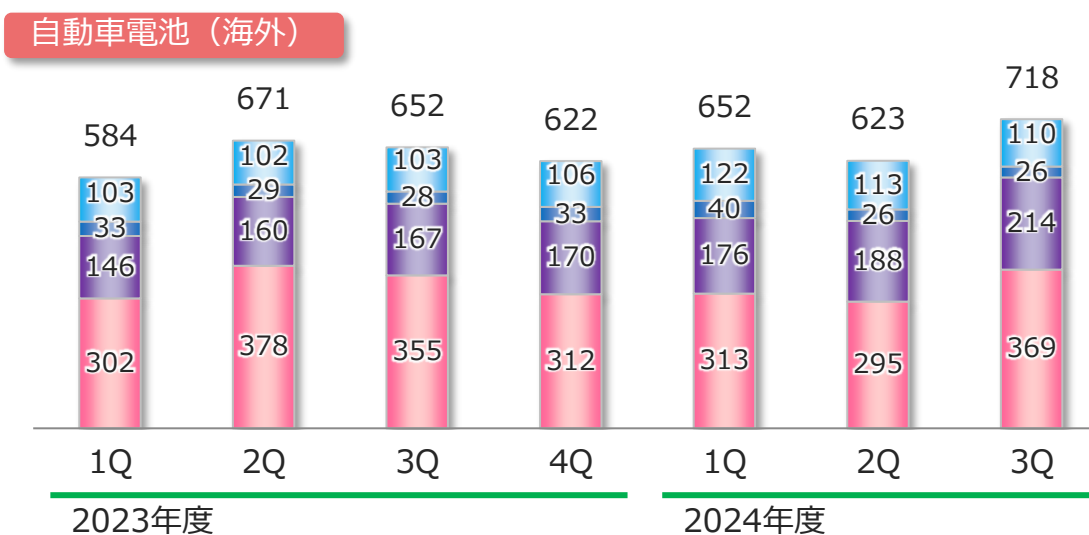
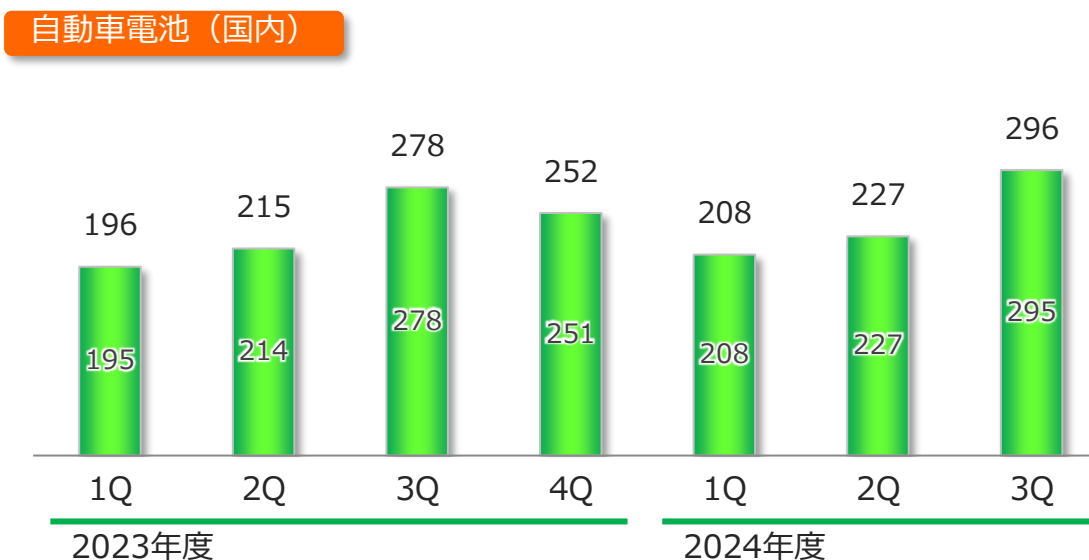
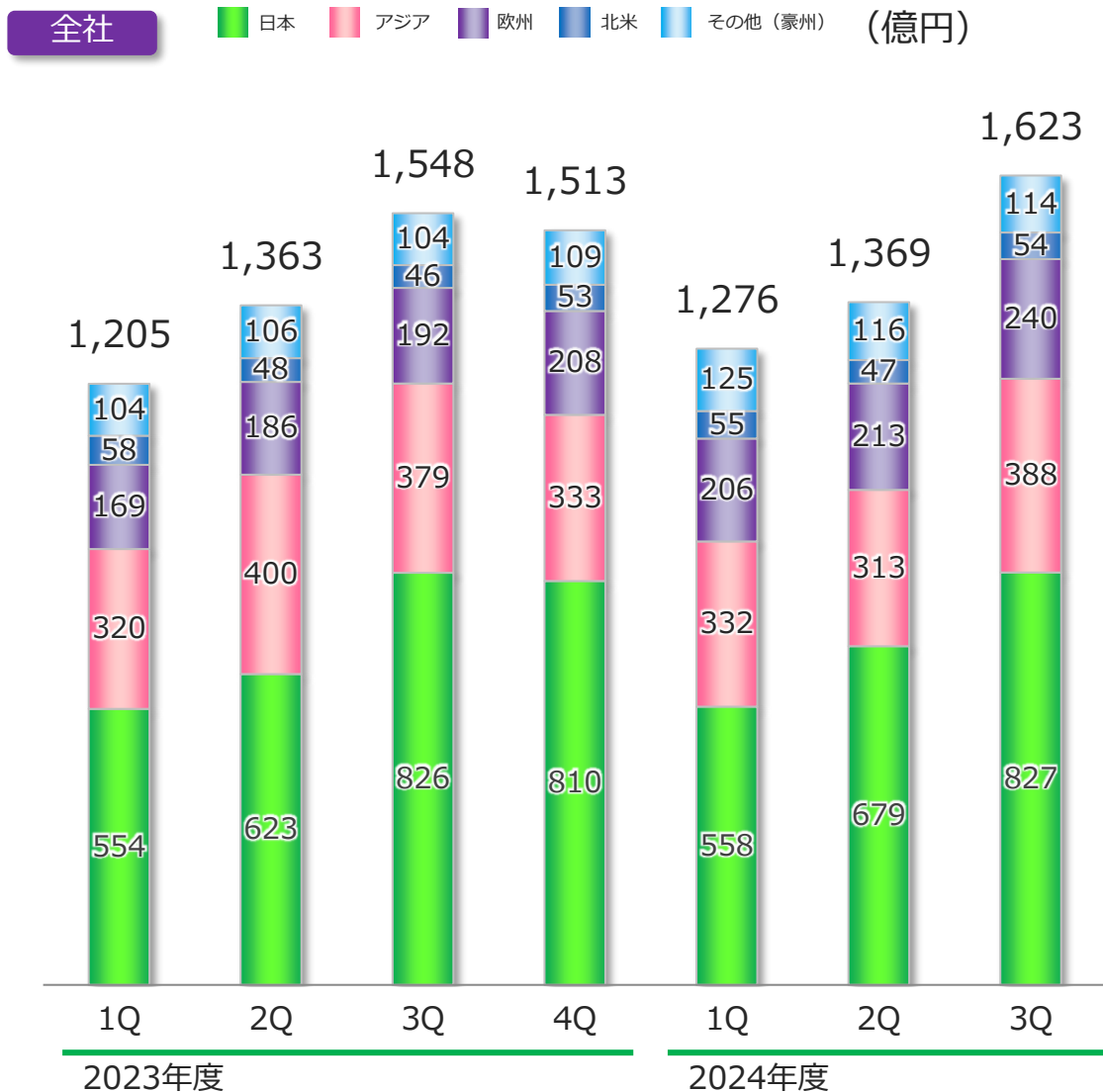
(億円)



増減益要因 (前年比: 10-12月)

潜水艦用リチウムイオン電池などの契約単価見直しがあったものの、管理部門の経費増加により減少

# 参考資料. 全社・セグメント別地域別売上高推移 (3か月情報)



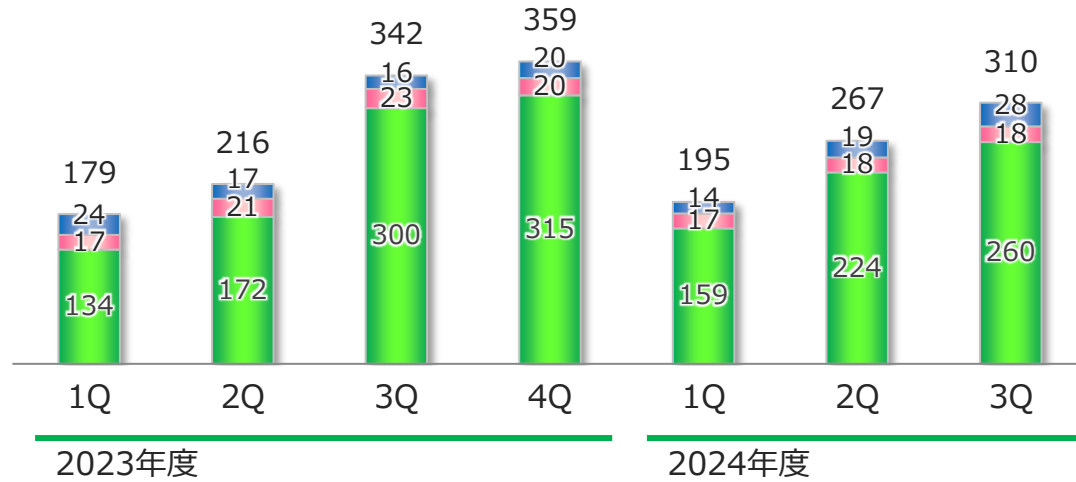


# 参考資料. 全社・セグメント別地域別売上高推移 (3か月情報)

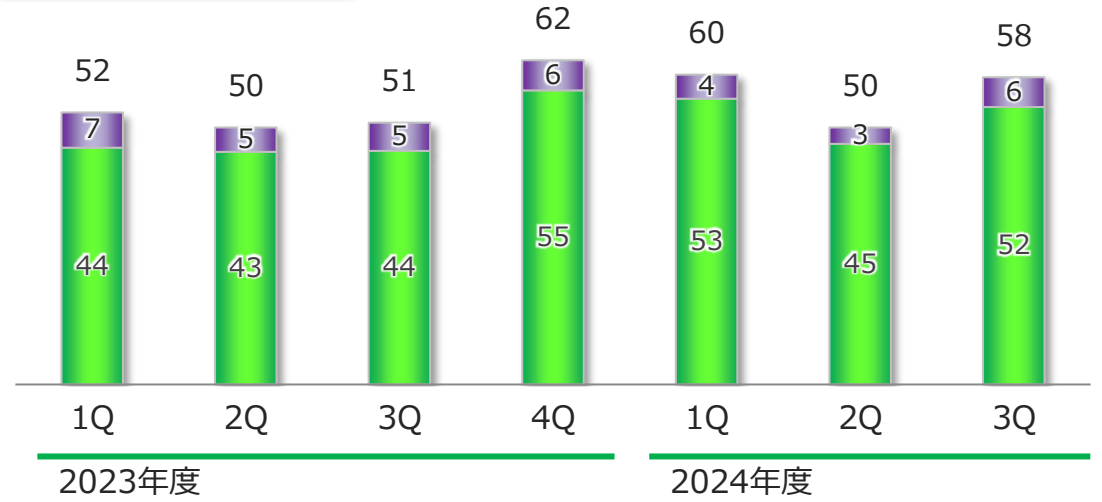


## 産業電池電源

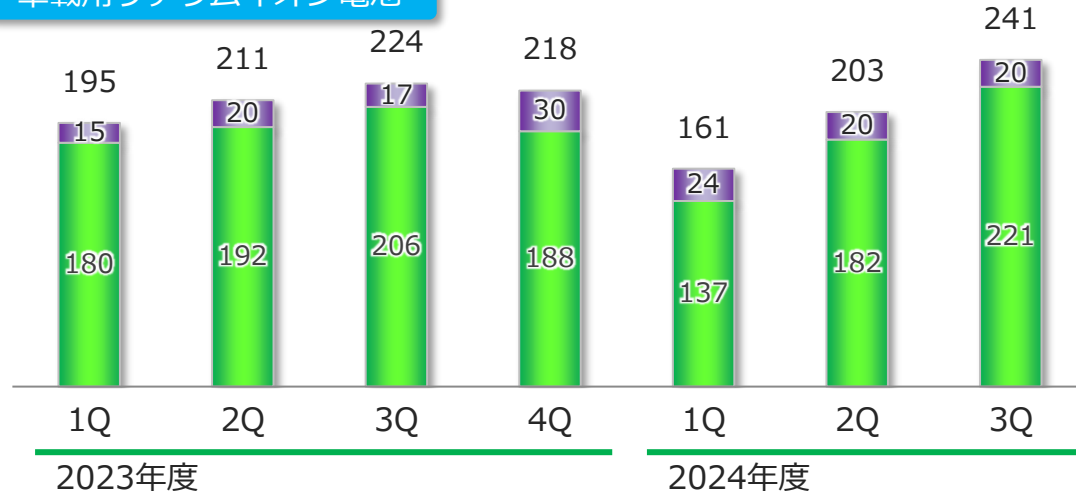
■ 日本 ■ アジア ■ 欧州 ■ 北米 ■ その他(豪州) (億円)



## 特殊電池およびその他

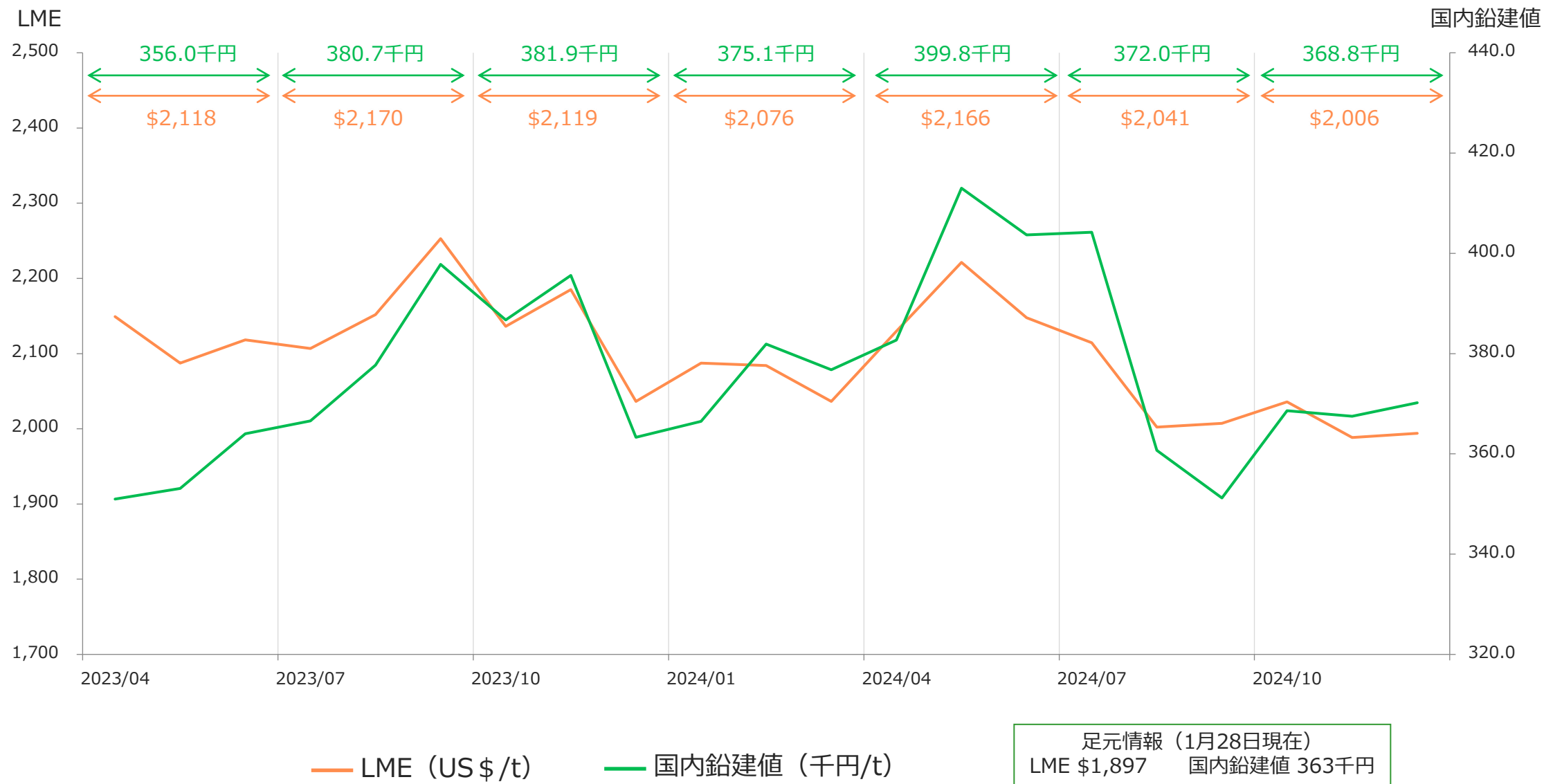


## 車載用リチウムイオン電池



(注) 数値は主な地域のものになります。

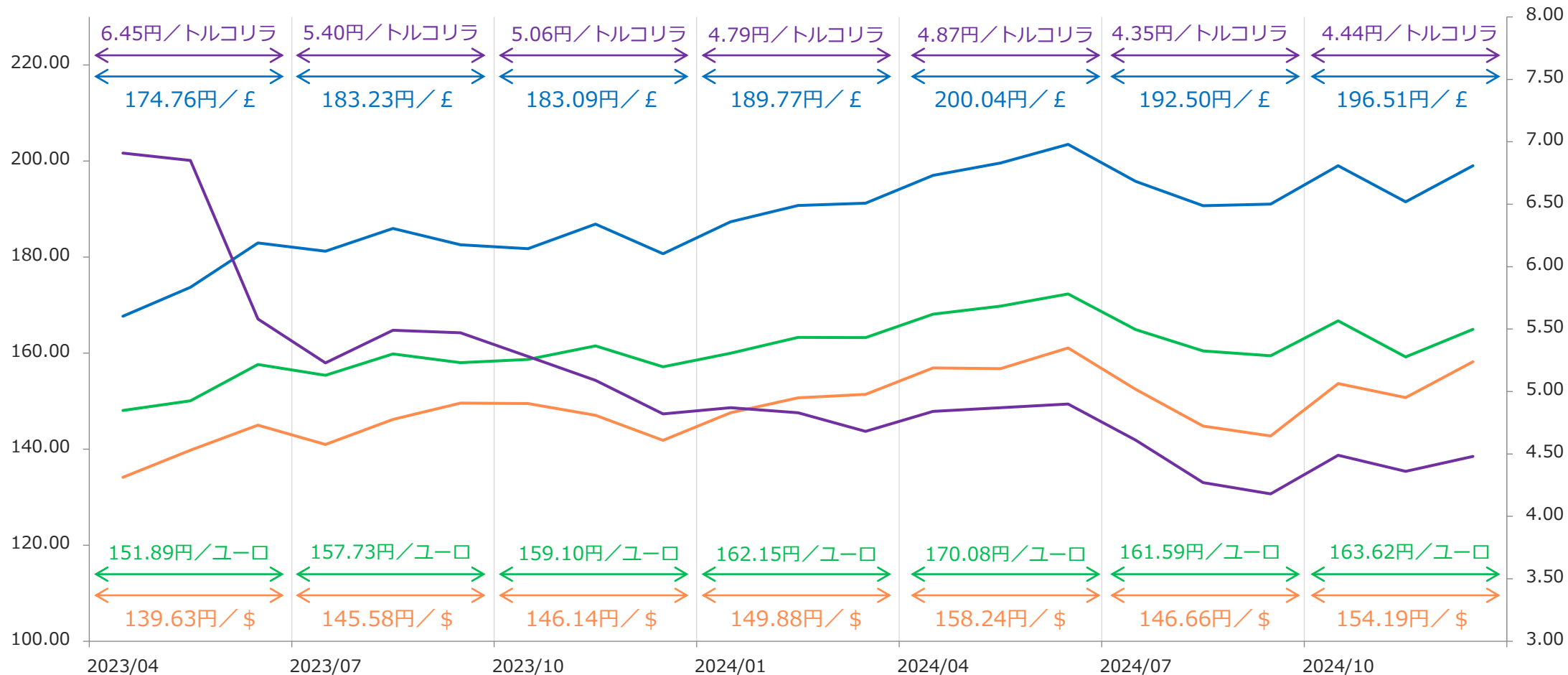
# 参考資料. 原材料価格の推移



# 参考資料. 為替の推移

米ドル・ユーロ・英ポンド

トルコリラ



- 米ドル (円/US\$)
- ユーロ (円/ユーロ)
- 英ポンド (円/£)
- トルコリラ (円/トルコリラ)

足元情報 (1月28日現在)  
 米ドル 155.13円/US\$ ユーロ 162.05円/ユーロ  
 英ポンド 193.26円/£ トルコリラ 4.34円/トルコリラ

# 参考資料. セグメント別業績の四半期推移

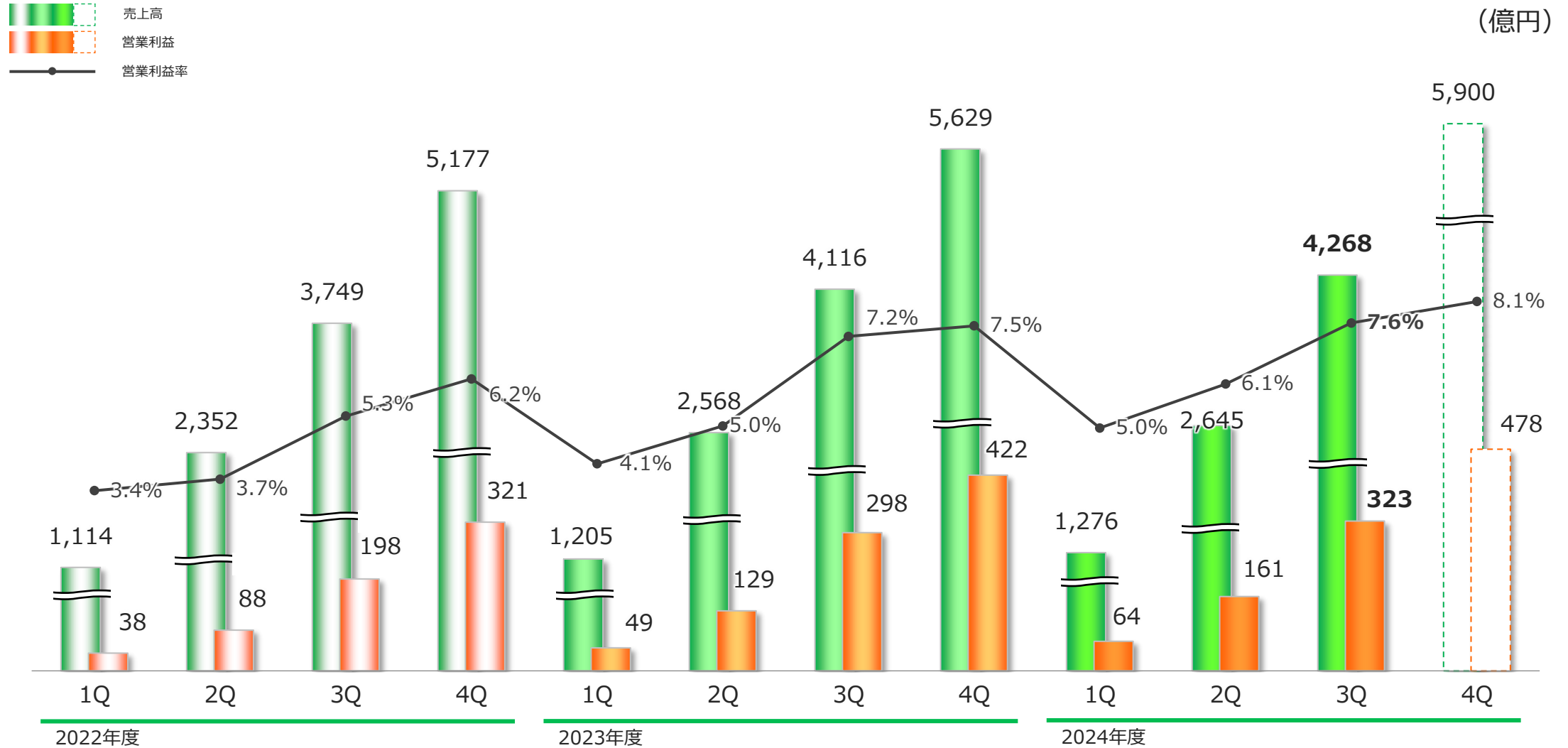


(億円)

		2023 年度										2024 年度											
		第1四半期 (4-6月)		第2四半期 (7-9月)		第3四半期 (10-12月)		第4四半期 (1-3月)		通期 (4-3月)		第1四半期 (4-6月)		第2四半期 (7-9月)		第3四半期 (10-12月)		第4四半期 (1-3月)		通期見通し (4-3月)			
自動車電池	国内 海外	売上高	営業利益 (利益率:%)	売上高	営業利益 (利益率:%)	売上高	営業利益 (利益率:%)	売上高	営業利益 (利益率:%)	売上高	営業利益 (利益率:%)	EBITDA (EBITDA マージン:%)	売上高	営業利益 (利益率:%)	売上高	営業利益 (利益率:%)	売上高	営業利益 (利益率:%)	売上高	営業利益 (利益率:%)	売上高	営業利益 (利益率:%)	EBITDA (EBITDA マージン:%)
				196	10 (5.2)	215	11 (5.3)	278	30 (10.9)	252	29 (11.4)	940	81 (8.6)	109 (11.6)	208	16 (7.8)	227	17 (7.6)	296	37 (12.5)	-	-	1,000
		584	28 (4.7)	671	48 (7.2)	652	58 (8.8)	622	18 (2.8)	2,529	151 (6.0)	226 (8.9)	652	48 (7.4)	623	46 (7.3)	718	49 (6.8)	-	-	2,640	178 (6.7)	-
		179	2 (0.8)	216	12 (5.6)	342	51 (14.8)	359	67 (18.8)	1,097	132 (12.0)	151 (13.8)	195	9 (4.8)	267	30 (11.2)	310	62 (20.1)	-	-	1,150	170 (14.8)	-
		195	4 (2.2)	211	3 (1.4)	224	17 (7.6)	218	2 (1.0)	848	26 (3.1)	75 (8.9)	161	△20 (△12.6)	203	3 (1.3)	241	6 (2.5)	-	-	900	10 (1.1)	-
		52	6 (10.9)	50	5 (9.7)	51	13 (25.5)	62	8 (13.7)	215	32 (14.9)	89 (41.4)	60	10 (16.9)	50	2 (3.3)	58	9 (15.0)	-	-	210	30 (14.3)	-
		1,205	49 (4.1)	1,363	80 (5.9)	1,548	169 (10.9)	1,513	124 (8.2)	5,629	422 (7.5)	650 (11.6)	1,276	64 (5.0)	1,369	97 (7.1)	1,623	163 (10.0)	-	-	5,900	478 (8.1)	708 (12.0)

(注) 営業利益はのれん等償却前営業利益、営業利益率はのれん等償却前営業利益率です。EBITDAはのれん等償却前営業利益+減価償却費です。

# 参考資料. 売上高・営業利益・利益率推移 (3か月情報)



(注) 営業利益はのれん等償却前営業利益、営業利益率はのれん等償却前営業利益率です。

## IAS 第29号「超インフレ経済下における財務報告」の概要

➤超インフレ経済下とは、3年累計インフレ率が、100%に近づいているか超えている状態

1.日本円換算時に、資産・負債項目 (BS項目) および収益・費用項目 (PL項目) を**決算日レートで換算**しなければならない

	従来	IAS 第29号
資産・負債項目 (BS項目)	決算日レート	決算日レート
収益・費用項目 (PL項目)	期中平均レート	

2.物価指数 (CPI) の変動を財務諸表に反映する必要がある

### ■貸借対照表への影響

- ・棚卸資産、有形・無形固定資産などの非貨幣性項目は取得日・取引日から、資本金は出資時点から、それぞれ期末時点までの物価変動に応じて修正再表示
- ・利益剰余金は期末時点までの累積的な影響を反映

### ■損益計算書への影響

- ・すべての科目を、取引時点から期末時点までの物価変動に応じて修正再表示

➡ インフレ影響による差分を営業外損益「**正味貨幣持高による損益**」に計上

日時	イベント	登壇者
3月17日 (月) 15:00~16:00予定	産業電池電源事業説明会	GSユアサ 常務取締役 産業電池電源事業部長 谷口 隆
5月13日 (火) 15:00予定	2025年3月期 決算発表 (報道機関向け)	代表取締役社長 阿部 貴志 取締役CFO 松島 弘明
同日 16:00~17:00予定	2025年3月期 決算説明会 (機関投資家・アナリスト向け)	同上